

官衆號外

昭和六年三月三日

第五十九回 帝國議會衆議院議事速記錄第二十一號

昭和六年三月二日(月曜日)

午後一時三十六分開議

議事手程 第二十號

昭和六年三月二日

午後一時開議

第一 地租法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 營業牧畜益稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 都市計畫法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(藤澤幾之輔君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

電氣事業法改正法律案

土地收用法中改正法律案

(以上三月一日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

セリ

官報號外

昭和六年三月三日

衆議院議事速記錄第二十一號 議長ノ報告

地租法案外六件 第一讀會ノ續

牧野法案
提出者

八田 宗吉君
大石 倫治君
母子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

糞事訴訟法中改正法律案
提出者

小林 錦君
大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

馬產振興ニ關スル建議案
提出者

大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

糞事訴訟法中改正法律案
提出者

大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

糞事訴訟法中改正法律案
提出者

大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

糞事訴訟法中改正法律案
提出者

大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

藤井 達也君
高橋熊次郎君

糞事訴訟法中改正法律案
提出者

大石 倫治君
八田 宗吉君
田子 一民君

第九部選出
決算委員

若宮 貞夫君(富澤裕君補
闕)

決算委員

砂田 重政君(守屋榮夫君
補闕)

自動車交通事業法案(政府提出)委員

古屋 慶隆君(松本 忠雄君
補闕)

佐藤 奥山(龜藏君(鈴木憲太郎君
正君))

大植清左衛門君(坂東幸太郎君
正君)

川口 藏園三四郎君(木村小左衛門君
正君)

川島正次郎君(三井 加藤鎧五郎君
正君)

豊田 豊田(名川 健市君
收君)

岸田 正記君(森本 一雄君
正君)

井上 剛一君(飯塚春太郎君
正君)

中 亥歲男君(瀬川 嘉助君
正君)

手代木隆吉君(岸田 正記君
正君)

堀切善兵衛君(上田 孝吉君
正君)

田中 館達君(岡野 龍一君
正君)

真鍋 小侯君(佐藤 與一君
正君)

基三君(高橋熊次郎君
正君)

上野 増田(安田 正男君
正君)

虎之助君(辻本豐三郎君
正君)

義一君(辻本豊三郎君
正君)

森 峰一君(森 峰一君
正君)

去二十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
第二部選出
決算委員 砂田 重政君(守屋榮夫君
補闕)

去二十八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
第三種郵便物認可

去二十八日議長ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
如シ

遞信省管船局長 侯爵廣幡 忠隆
第五十九回 帝國議會遞信省所管事務政府
委員被仰付
去二十八日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ

鳳見 章君
西村金三郎君
松井文太郎君

土井 権大君
牧野 良三君
津崎 開武君

去二十八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ
如シ

消費稅法中改正法律案、日程第四、織物消

費稅法中改正法律案、日程第五、明治四十

一年法律第三十七號中改正法律案、日程第

六、大正十五年法律第二十四號中改正法律

案、日程第七、都市計畫法中改正法律案ノ

七案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、

望月主介君外十六名カラ成規ノ贊成ヲ得

テ、地租法案外六件ノ撤回ヲ求ムルノ動議

ガ提出サレテ居リマス、是ハ委員長ノ報告

ニ次デ其趣旨辯明ヲ許シマス、先づ委員長

ノ報告ヲ求メマス、委員長本田恒之君

及段及報告候也

第一 地租法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 地租法案(政府提出)

右ハ本院ニ可決スヘキモノト議決致候此

段及報告候也

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第二 营業収益稅法中改正法律案(政

府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 营業収益稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第三 砂糖消費稅法中改正法律案(政

府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

一 都市計畫法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

第四 織物消費稅法中改正法律案(政

府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第一 地租法案(政府提出)

報告書

第五 明治四十一年法律第三十七號中

改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)

(政府提出)

第一 地租法案(政府提出)

報告書

一 明治四十一年法律第三十七號中

改正法律案(地方稅ニ關スル件)

(政府提

出)

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第一 地租法案(政府提出)

報告書

第六 大正十五年法律第二十四號中

改正法律案(地方稅ニ關スル件)

(政府提

出)

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第一 大正十五年法律第二十四號中

改正法律案(地方稅ニ關スル件)

(政府提

出)

昭和六年二月二十八日

委員長 本田 恒之

衆議院議長藤澤幾之輔殿

第一 一都市計畫法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

第二ハ、今回ノ減稅案ト云フモノヲ地租、

營業収益稅及ビ砂糖消費稅、織物消費稅ノ

四種ニ限定シタノハドウ云フ譯デアルカ、

モウ少シ廣ク減稅ヲ試ミナカッタノハ何故

デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ

於キマシテハ、之ニ對シテ今回ノ減稅ノ計

畫ト云フモノハ、海軍ノ留保財源ノ餘裕ヲ

以テ計畫シタモノデアルカラ、金高ノ上ニ

於テ他ノ減稅ニ及ブ餘地ガナカッタノデア

ル、殊ニ國民日用ノ生活ニ必要ナル織物稅

及ビ砂糖消費稅ニ限定シタノデアル、又直

接稅トシテハ今日一千万以上ノ納稅者ヲ有

スル所ノ地租、即チ農民ガ非常ニ疲弊致

シテ居ルカラ、之ニ向テ減稅ヲ試ミタノ

デアル、既ニ農民ノ負擔ヲ減ジタ以上ハ、

其均衡トシテ商工業者ニ對シテ負擔ノ輕減

ヲスル必要ガアル、ソレ故ニ營業収益稅ニ

シテ輕減ヲ試ミタノデアルト云フノガ、政

府ノ大體ノ答辯デアリマス、又減稅額ガ間

接稅ニ及ブ所ガ少イデハナイカ、僅カニ織

物稅及ビ砂糖消費稅ニ輕減ヲ試ミタノ

ノデハ、民衆ニ對スル負擔ノ輕減ガ少イデ

ハナイカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府

ハ今日經濟界ノ變動ノ結果ト致シテ、物價

ハ非常ニ下落ヲ致シテ居ル、此以上更ニ消

費稅ニ減稅ヲ試ミテ、物價ヲ低落セシム

ト云フ必要ヲ認メナイ、ダカラ此程度ニ止

メテ居タノデアルト云フ答辯デアリマス、

更ニ消費稅ニ對スル所ノ減稅ト云フモノ

ハ、是ハ消費者ニ轉嫁サレズシテ、途中ニ

ガ一般ノ消費者ニ直チニ影響スルト云フコ

トハ困難ノ事情ガアルケレドモ、既ニ消費

稅ヲ相當ニ減額シタ以上ハ、影響ガアル

モノト考ヘル、尙ホ其減稅ノ效果ガ現ハレ

ルヤウニ、政府ハ特ニ努力ヲシタイト云フ

答辯デアリマシタ

第三ハ、今回ノ減税計畫ハ國稅ニノミ限
ラレテ、地方稅ニ及バナイノハドウ云フ譯
デアルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シ
マシテハ、海軍ノ計畫即チ海軍ノ充實計畫
ハ、國稅ヲ以テ之ヲ支辨スルト云フコトニ
ナツテ居ル、今回海軍ノ留保財源ニ餘裕ヲ生
ジタ以上ハ、之ヲ國稅ニ向テ輕減スルト云
フノガ當然ノ結果デアルト云フ、簡單ナル
答辯デアリマス

ソレカラ地租輕減ノ結果、地方稅ニ於キ
マシテハ地租ニ對スル附加稅ガ非常ニ減額
サレル、減額サレ、バソレダケ家屋稅デア
ルトカ、戸數割デアルトカ云フモノニ轉嫁
スルノハ明白デアル、今日既ニ家屋稅、戸
數割ノ負擔ニ苦シニデ居ル一般國民ハ、更
ニ地租ニ於テ減額サレタダケヲ重課サレル
ト云フコトニナルト、一層困難デアラウト
云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於キマシテ
ハ、ソレハ監督ヲ嚴重ニシテ重課ヲセシメ
ナイヤウニシタイト考ヘテ居ル、尙ホ昭和
六年ニ於テ計畫サレテ居リマスル所ノ稅制
整理ニ於キマシテ、地方稅ニ付テハ根柢ヨ
リ相當ノ訂正ヲ加ヘル考デアルカラ、地方
民ノ負擔ニ苦シムト云フ結果ヲ生ゼシメナ
イヤウニシタイト云フ答辯デアリマシタ
最後ニ最モ大ナル質問ガアッタノデアリ
マス、ソレハ政友會ノ大口君カラ發セラレ
マシタ所ノ質問デアリマスガ、減稅ハ勿論
恒久的ノ計畫デアル、恒久的ノ計畫デアル
ニ付テハ、其稅源モ亦恒久デナケレバナラ
ヌ、然ルニ政府ノ計畫スル所ニ依テ見レ
バ、其稅源ガ甚ダ不確實デアル、殊ニ今回
ノ海軍補充計畫ノ外ニ、昭和十一年以前ニ
於テ頭ヲ現ハスデアラウト認メラレル所
ノ、所謂第一補充計畫ノ財源ハ何ニ依テ求
メルカ、若モ第二計畫ヲ實行スルト云フ場
合ニ於テ、財源ヲ海軍ノ留保財源ニ得ルト
云フコトニナルト、減稅ノ財源方ナクナッテ
シマフ、減稅ノ財源ヲ維持スルト云フコト
ニナルト、第二計畫ノ財源ガナイガ、政府

ハ如何ニシテ之ヲ見出スカト云フ質問デア
リマシタ、之ニ對シテ政府ノ答辯ノ要領ハ、
マシテハ、海軍ノ計畫即チ海軍ノ充實計畫
ニ於テ、海軍ノ根幹ト云フ
ノハ、内々ノ狀況ニ顧ミテ徐ロニ之ヲ計畫
ノハ、内外ノ狀況ニ顧ミテ徐ロニ之ヲ計畫
スルト雖モ、決シテ遲シトシナ、現在ニ
於テハ何等其計畫ヲ持テ居ナインデアル、
斯ウ云フ海軍當局ノ答辯デアリマス、既ニ
現在ニ於テ何等計畫ト云フモノガナイトス
ルナラバ、之ニ向テ其財源ヲ今ヨリ保留シ
テ置ク必要ハアルマイ、五年六年先ニ至テ
行ハルベキコトデアラウト思ハレルコト
ハ、世界ノ大勢ニ基イテ之ヲ計畫サレル事
柄デアル、デアリマスカラ今カラ其財源ヲ
留保シテ置ク必要ハナインデアリマスト云
フノガ、答辯ノ要領デアリマス、其他或ハ
廣幅織物ニ對シテ何故ニ減稅シナイカ、或
ハ人絹織物ニ對シテ何故ニ免稅シナイカト
云フヤウナ質問、其他重要ナ質問ガ非常ニ
少數意見即チ只今提出セラレマシタ所ノ、
コトハ、其煩ヲ避ケタイト考ヘマシテ、一
切速記録ニ讓リマス、討論ニ入リマシテ、
大口君ハ政友會ヲ代表サレテ、今度ノ減稅
計畫ト云フモノハ如何ニモ杜撰デアル、其
財源ノ上カラ申シテモ、其内容ニ於テモ、
其地方稅トノ關係ニ於テモ杜撰デアルカ
ラ、之ヲ政府ニ返付シテ作成替ラシテ貰ヒ
タイト云フ御意見ノ發表デアリマシタ、松
谷與二郎君ハ、此減稅案ハ無產階級ニハ甚
ダ其利益ヲ露ス所ガ薄イカラ、更ニ大イニ
修正ヲシタイト云フ種々ノ御意見ガ出マシ
タ、又永田善三郎君ハ民政黨ヲ代表致シマ
シテ、今ヤ我ガ國民ハ經濟界ノ不況ノ爲ニ、
留財源ヲ主トシテ減稅ニ向ケルト云フコト
ヲ表明致シテ、天下ヲシテ信用サセテ居
タ、即チ今ヤ如何、其一小部分ヲ以テ減稅
ニ充テルト云フコトハ、全ク政府ノ言明ヲ
裏切り、國民ヲ欺クモノデアルト吾々ハ信
ヲ表明致シテ、天下ヲシテ信用サセテ居
タ、即チ今ヤ如何、其一小部分ヲ以テ減稅
ニ充テルト云フコトハ、架空ノ議論デアリ、
吾々到底常識ヲ以テスルモ、之ヲ承認スル
シテ立テタモノデアル、此昭和五年度ノ財
政計畫ハ、諸君ノ御承知ノ如ク十五億幾千
萬圓ノ歲入アリシ時代ノ計畫デアル、今回
ノ計畫ハ如何、即チ既ニ歲入ガ十四億ニ下
シテ居ル、其下ヲテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ
五億八百万圓ノ財源アリト云フコトハ、吾
々ハ政府ガ昭和五年度ノ財政計畫ヲ基礎ト
シテ立テタモノデアル、此昭和五年度ノ財
政計畫ハ、諸君ノ御承知ノ如ク十五億幾千
萬圓ノ歲入アリシ時代ノ計畫デアル、今回
ノ計畫ハ如何、即チ既ニ歲入ガ十四億ニ下
シテ居ル、其下ヲテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ
五千四百萬圓ヲ海軍ノ整備計畫ニ用ヒ、其
残額僅ニ一億三千四百万圓ヲ今回ノ減稅ニ
向ケント致スモノデアリマス、此額ハ一應
ナルデアリマス、即チ一年ハ平年度ニ於テ
僅ニ二千五百餘萬圓ノ減稅、六年度ニ於テ

ニ於テ演述セラル、コトデアラウト思ヒマ
スカラ、私ハ其理由ハ一切省略致シマス
シ、又政府ノ言明ニ實行セラレザリシコト
ヲ遺憾ト致ス者デアリマス(拍手)
最後ニ採決ヲ致シマシタ所ガ、大口君ノ
モノハ既ニ備テ居リテ、國防上何等心配ス
ルコトハナイ、尙ホ所謂第二計畫ト云フモ
ノハ、内外ノ狀況ニ顧ミテ徐ロニ之ヲ計畫
スルト雖モ、決シテ遲シトシナ、現在ニ
於テハ何等其計畫ヲ持テ居ナインデアル、
斯ウ云フ海軍當局ノ答辯デアリマス、既ニ
返付論ハ少數ニシテ否決サレマシタ、永田
君ノ原案贊成論ガ多數ヲ以テ、政府案ハ可
決ニ相成タ次第デアリマス、ドウゾ本會ニ
於キマシテモ、委員會決定通り御贊成アラ
ンコトヲ希望致シマシテ、此委員會ノ報告
ト致シマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 是ヨリ撤回ノ動議
ノ趣旨辯明ヲ許シマス、岡田忠彦君

(岡田忠彦君登壇)

○岡田忠彦君 諸君、私ハ委員會ニ於ケル
少數意見即チ只今提出セラレマシタ所ノ、
云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於キマシテ
ハ、ソレハ監督ヲ嚴重ニシテ重課ヲセシメ
ナイヤウニシタイト考ヘテ居ル、尙ホ昭和
六年ニ於テ計畫サレテ居リマスル所ノ稅制
整理ニ於キマシテ、地方稅ニ付テハ根柢ヨ
リ相當ノ訂正ヲ加ヘル考デアルカラ、地方
民ノ負擔ニ苦シムト云フ結果ヲ生ゼシメナ
イヤウニシタイト云フ答辯デアリマシタ
最後ニ最モ大ナル質問ガアッタノデアリ
マス、ソレハ政友會ノ大口君カラ發セラレ
マシタ所ノ質問デアリマスガ、減稅ハ勿論
恒久的ノ計畫デアル、恒久的ノ計畫デアル
ニ付テハ、其稅源モ亦恒久デナケレバナラ
ヌ、然ルニ政府ノ計畫スル所ニ依テ見レ
バ、其稅源ガ甚ダ不確實デアル、殊ニ今回
ノ海軍補充計畫ノ外ニ、昭和十一年以前ニ
於テ頭ヲ現ハスデアラウト認メラレル所
ノ、所謂第一補充計畫ノ財源ハ何ニ依テ求
メルカ、若モ第二計畫ヲ實行スルト云フ場
合ニ於テ、財源ヲ海軍ノ留保財源ニ得ルト
云フコトニナルト、減稅ノ財源ガナクナッテ
シマフ、減稅ノ財源ヲ維持スルト云フコト
ニナルト、第二計畫ノ財源ガナイガ、政府

ハモット少クシテ、九百万圓ノ減稅デアル、
吾々ハ甚ダ其額ノ少ナキコトヲ遺憾ト致
シ、又政府ノ言明ニ實行セラレザリシコト
ヲ遺憾ト致ス者デアリマス(拍手)
抑、一國ノ財政變理ノ任ニ當ル者ガ、減
稅案ヲ提出スルニ當テハ必ズヤ恒久的ノ
計畫ヲ立テナケレバナラヌ、今此計畫ニ依
ルモ、六年ノ間ハ假ニ確實ナ留保財源アリ
トスルモ、其先ノ計畫ハ殆ド無イ、斯ノ如
キ基礎ノ薄弱ナル計畫ノ下ニ實行サレタナ
ラバ、今回ノ減稅ニ依テ一旦國民ヲ安心
セセテ置イテ、將來ニ於テ直チニ增稅若ク
ハ公債ノ増發ニ依テ、國民ニ重荷ヲ負ハス
ト云フ結果ニナルコトハ明瞭デアリマセ
ス、更ニ進シニ五億八百万圓ノ此稅源ナルモ
サセテ置イテ、將來ニ於テ直チニ增稅若ク
ハ公債ノ増發ニ依テ、國民ニ重荷ヲ負ハス
ト云フ結果ニナルコトハ明瞭デアリマセ
ス、更ニ進シニ五億八百万圓ノ此稅源ナルモ
サセテ置イテ、將來ニ於テ直チニ增稅若ク
ハナインデアリマス、即チ吾々ハ此動議ニ依テ、政府ノ原案ニ反對
ノ意見ヲ表明スル者デアリマス、吾々ハ固
ヨリ減稅ナルモノニ付テハ、少シモ反對デ
アリマシテ、寧ロ今回ノ政府ノ提案ノ額ノ少
少數意見即チ只今提出セラレマシタ所ノ、
云フヤウナ質問、其他重要ナ質問ガ非常ニ
少數意見即チ只今提出セラレマシタ所ノ、
云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於キマシテ
ハ、ソレハ監督ヲ嚴重ニシテ重課ヲセシメ
ナイヤウニシタイト考ヘマシテ、一
切速記録ニ讓リマス、討論ニ入リマシテ、
大口君ハ政友會ヲ代表サレテ、今度ノ減稅
計畫ト云フモノハ如何ニモ杜撰デアル、其
財源ノ上カラ申シテモ、其内容ニ於テモ、
其地方稅トノ關係ニ於テモ杜撰デアルカ
ラ、之ヲ政府ニ返付シテ作成替ラシテ貰ヒ
タイト云フ御意見ノ發表デアリマシタ、松
谷與二郎君ハ、此減稅案ハ無產階級ニハ甚
ダ其利益ヲ露ス所ガ薄イカラ、更ニ大イニ
修正ヲシタイト云フ種々ノ御意見ガ出マシ
タ、又永田善三郎君ハ民政黨ヲ代表致シマ
シテ、今ヤ我ガ國民ハ經濟界ノ不況ノ爲ニ、
留財源ヲ主トシテ減稅ニ向ケルト云フコト
ヲ表明致シテ、天下ヲシテ信用サセテ居
タ、即チ今ヤ如何、其一小部分ヲ以テ減稅
ニ充テルト云フコトハ、架空ノ議論デアリ、
吾々到底常識ヲ以テスルモ、之ヲ承認スル
シテ立テタモノデアル、此昭和五年度ノ財
政計畫ハ、諸君ノ御承知ノ如ク十五億幾千
萬圓ノ歲入アリシ時代ノ計畫デアル、今回
ノ計畫ハ如何、即チ既ニ歲入ガ十四億ニ下
シテ居ル、其下ヲテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ
五億八百万圓ノ財源アリト云フコトハ、吾
々ハ政府ガ昭和五年度ノ財政計畫ヲ基礎ト
シテ立テタモノデアル、此昭和五年度ノ財
政計畫ハ、諸君ノ御承知ノ如ク十五億幾千
萬圓ノ歲入アリシ時代ノ計畫デアル、今回
ノ計畫ハ如何、即チ既ニ歲入ガ十四億ニ下
シテ居ル、其下ヲテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ
五千四百萬圓ヲ海軍ノ整備計畫ニ用ヒ、其
残額僅ニ一億三千四百万圓ヲ今回ノ減稅ニ
向ケント致スモノデアリマス、此額ハ一應
ナルデアリマス、即チ一年ハ平年度ニ於テ
僅ニ二千五百餘萬圓ノ減稅、六年度ニ於テ

分ナル安固ヲ與ヘルモノデアルカドウカ、政府ハ此所謂第一次補充計畫ナルモノハ、海軍ノ整備計畫中ノ幹糧デアルト云フコトヲ唱ヘテ居ル、而モ此幹糧デアルト云フコトノ一次計畫ヲスルモ、委員會ニ於ケル吾々トノ應答ニ依テ見ルト甚ダ怪シイ、此怪シイ點ニ付テハ、私ハ便宜上他ノ同僚ニ譲ルノデアルガ、然ラバ尙ホ其背後ニ海軍ノ整備上必要トスル所ノ經費ガアルコトハ明瞭デアル、即チ同僚内田君ノ政府ト應答ヲ重ねラレタ所ニ依テ明瞭ナルガ如ク、此背後ニハ第二次補充計畫ガ横ハツテ居ル、更ニ又今回ノ補充計畫ニ依ルト、尙ホ昭和七年度ヨリ一万八千噸ト云フ新艦ノ維持費ト云フモノ、必要ガアルコトハ、是亦政府ノ明瞭ニ認メテ居ル所デアル、此第二次計畫ナルモノハ昭和九年若クハ十年、十一年ニ亘ラテ實行サレルモノデアルコトモ、亦政府ノ認メル所デアルガ、其費用ハ幾ラデアルカト言ヘバ、即チ全部ノ費用ニ付テハ多少意見ノ相違モアリマセウガ、吾々ハ之ヲ一億五千万圓ト考ヘテ居ル、是ハ別問題ト致シマシテモ、此九年若クハ十年、十一年ノ時ニ於テ、第二次計畫ニ著手スルナラバ、職工ノ足留費ノミテモ九百六十萬圓ト云フ巨額ノ費用ヲ要スルコトハ、是亦明瞭デアル(拍手)ノ又新艦建造費ニ至ラハ、最低二千万圓ノ財源ヲ要スル、而モ此二つの財源ニ付テバ、政府ハ將來中外ノ形勢ニ依テ考ヘルト云フ此一言ノミテ、何等ノ準備ヲシテ居ナイ、是ハ政府ガ國防ニ對シ、國民ノ安固ニ對シテ、如何ニ誠意ヲ缺クモノデアルカヲ斷言セザルヲ得ナインデアリマス(拍手)而モ又現内閣成立以來ノ財政經理ノ有様ヲ見ルト、洵ニ無謀無經綸ヲ極メテ居ル、即チ四年度ニ於テハ六千餘万圓ノ繩延ヲ致シテ居ルノデアル、政府樹立ノ當初、即チ昭和四年ノ九月十一日、政府ハ各派ノ代表ヲ集メテ、所謂實行豫算ナルモノヲ説明シタノデアルガ、其場合ニ何故斯様ニ無謀ナ

ル繩延ヲ爲シタカト云フコトヲ聞イタ、斯ガ政府ニ答ヘテ、經常費ニ於テハ中ニ削減ガムヅカシイ、仍テ此臨時費ニ付テ取上必要トスルモ、委員會ニ於ケル吾々トノ應答ニ依テ見ルト甚ダ怪シイ、此怪シイ點ニ付テハ、私ハ便宜上他ノ同僚ニ譲ルノデアルガ、然ラバ尙ホ其背後ニ海軍ノ整備上必要トスル所ノ經費ガアルコトハ明瞭デアル、即チ同僚内田君ノ政府ト應答ヲ重ねラレタ所ニ依テ明瞭ナルガ如ク、此背後ニハ第二次補充計畫ガ横ハツテ居ル、更ニ又今回ノ補充計畫ニ依ルト、尙ホ昭和七年度ヨリ一万八千噸ト云フ新艦ノ維持費ト云フモノ、必要ガアルコトハ、是亦政府ノ明瞭ニ認メテ居ル所デアル、此第二次計畫ナルモノハ昭和九年若クハ十年、十一年ニ亘ラテ實行サレルモノデアルコトモ、亦政府ノ認メル所デアルガ、其費用ハ幾ラデアルカト言ヘバ、即チ全部ノ費用ニ付テハ多少意見ノ相違モアリマセウガ、吾々ハ之ヲ一億五千万圓ト考ヘテ居ル、是ハ別問題ト致シマシテモ、此九年若クハ十年、十一年ノ時ニ於テ、第二次計畫ニ著手スルナラバ、職工ノ足留費ノミテモ九百六十萬圓ト云フ巨額ノ費用ヲ要スルコトハ、是亦明瞭デアル(拍手)ノ又新艦建造費ニ至ラハ、最低二千万圓ノ財源ヲ要スル、而モ此二つの財源ニ付テバ、政府ハ將來中外ノ形勢ニ依テ考ヘルト云フ此一言ノミテ、何等ノ準備ヲシテ居ナイ、是ハ政府ガ國防ニ對シ、國民ノ安固ニ對シテ、如何ニ誠意ヲ缺クモノデアルカヲ断言セザルヲ得ナインデアリマス(拍手)而モ又現内閣成立以來ノ財政經理ノ有様ヲ見ルト、洵ニ無謀無經綸ヲ極メテ居ル、即チ四年度ニ於テハ六千餘万圓ノ繩延ヲ致シテ居ルノデアル、政府樹立ノ當初、即チ昭和四年ノ九月十一日、政府ハ各派ノ代表ヲ集メテ、所謂實行豫算ナルモノヲ説明シタノデアルガ、其場合ニ何故斯様ニ無謀ナ

所ガ政府ニ答ヘテ、經常費ニ於テハ中ニ削減ガムヅカシイ、仍テ此臨時費ニ付テ取上必要トスルモ、委員會ニ於ケル吾々トノ應答ニ依テ見ルト甚ダ怪シイ、此怪シイ點ニ付テハ、私ハ便宜上他ノ同僚ニ譲ルノデアルガ、然ラバ尙ホ其背後ニ海軍ノ整備上必要トスル所ノ經費ガアルコトハ明瞭デアル、即チ同僚内田君ノ政府ト應答ヲ重ねラレタ所ニ依テ明瞭ナルガ如ク、此背後ニハ第二次補充計畫ガ横ハツテ居ル、更ニ又今回ノ補充計畫ニ依ルト、尙ホ昭和七年度ヨリ一万八千噸ト云フ新艦ノ維持費ト云フモノ、必要ガアルコトハ、是亦政府ノ明瞭ニ認メテ居ル所デアル、此第二次計畫ナルモノハ昭和九年若クハ十年、十一年ニ亘ラテ實行サレルモノデアルコトモ、亦政府ノ認メル所デアルガ、其費用ハ幾ラデアルカト言ヘバ、即チ全部ノ費用ニ付テハ多少意見ノ相違モアリマセウガ、吾々ハ之ヲ一億五千万圓ト考ヘテ居ル、是ハ別問題ト致シマシテモ、此九年若クハ十年、十一年ノ時ニ於テ、第二次計畫ニ著手スルナラバ、職工ノ足留費ノミテモ九百六十萬圓ト云フ巨額ノ費用ヲ要スルコトハ、是亦明瞭デアル(拍手)ノ又新艦建造費ニ至ラハ、最低二千万圓ノ財源ヲ要スル、而モ此二つの財源ニ付テバ、政府ハ將來中外ノ形勢ニ依テ考ヘルト云フ此一言ノミテ、何等ノ準備ヲシテ居ナイ、是ハ政府ガ國防ニ對シ、國民ノ安固ニ對シテ、如何ニ誠意ヲ缺クモノデアルカヲ断言セザルヲ得ナインデアリマス(拍手)而モ又現内閣成立以來ノ財政經理ノ有様ヲ見ルト、洵ニ無謀無經綸ヲ極メテ居ル、即チ四年度ニ於テハ六千餘万圓ノ繩延ヲ致シテ居ルノデアル、政府樹立ノ當初、即チ昭和四年ノ九月十一日、政府ハ各派ノ代表ヲ集メテ、所謂實行豫算ナルモノヲ説明シタノデアルガ、其場合ニ何故斯様ニ無謀ナ

ル繩延ヲ爲シタカト云フコトヲ聞イタ、斯ガ政府ニ答ヘテ、經常費ニ於テハ中ニ削減ガムヅカシイ、仍テ此臨時費ニ付テ取上必要トスルモ、委員會ニ於ケル吾々トノ應答ニ依テ見ルト甚ダ怪シイ、此怪シイ點ニ付テハ、私ハ便宜上他ノ同僚ニ譲ルノデアルガ、然ラバ尙ホ其背後ニ海軍ノ整備上必要トスル所ノ經費ガアルコトハ明瞭デアル、即チ同僚内田君ノ政府ト應答ヲ重ねラレタ所ニ依テ明瞭ナルガ如ク、此背後ニハ第二次補充計畫ガ横ハツテ居ル、更ニ又今回ノ補充計畫ニ依ルト、尙ホ昭和七年度ヨリ一万八千噸ト云フ新艦ノ維持費ト云フモノ、必要ガアルコトハ、是亦政府ノ明瞭ニ認メテ居ル所デアル、此第二次計畫ナルモノハ昭和九年若クハ十年、十一年ニ亘ラテ實行サレルモノデアルコトモ、亦政府ノ認メル所デアルガ、其費用ハ幾ラデアルカト言ヘバ、即チ全部ノ費用ニ付テハ多少意見ノ相違モアリマセウガ、吾々ハ之ヲ一億五千万圓ト考ヘテ居ル、是ハ別問題ト致シマシテモ、此九年若クハ十年、十一年ノ時ニ於テ、第二次計畫ニ著手スルナラバ、職工ノ足留費ノミテモ九百六十萬圓ト云フ巨額ノ費用ヲ要スルコトハ、是亦明瞭デアル(拍手)ノ又新艦建造費ニ至ラハ、最低二千万圓ノ財源ヲ要スル、而モ此二つの財源ニ付テバ、政府ハ將來中外ノ形勢ニ依テ考ヘルト云フ此一言ノミテ、何等ノ準備ヲシテ居ナイ、是ハ政府ガ國防ニ對シ、國民ノ安固ニ對シテ、如何ニ誠意ヲ缺クモノデアルカヲ断言セザルヲ得ナインデアリマス(拍手)而モ又現内閣成立以来ノ財政經理ノ有様ヲ見ルト、洵ニ無謀無經綸ヲ極メテ居ル、即チ四年度ニ於テハ六千餘万圓ノ繩延ヲ致シテ居ルノデアル、政府樹立ノ當初、即チ昭和四年ノ九月十一日、政府ハ各派ノ代表ヲ集メテ、所謂實行豫算ナルモノヲ説明シタノデアルガ、其場合ニ何故斯様ニ無謀ナ

想ヲ具有シテ居ルモノデアル、而モ歳相ハ
此行財政ノ整理ノ問題ノ一ツシテ、將來
苦シクナレバ繼續費モ亦之ヲ繰延ベナケレ
バナラメト云フコトヲ、委員會ニ於テ言明
致シテ居ル、左様ナラバ此政府ノ提案サレ
タル所ノ繼續費ナルモノハ、殆ド信ヲ措ク
ニ足ラザルモノデアルト言ハナケレバナラ
ヌ、斯ノ如キ貧弱ナル消極的ノ理想ノ下ニ
於テ、如何ニシテ政府ハ此財政整理ヲ行ヒ
得ルカ、吾々ハ之ヲ甚ダ煩フモノデアル、
ノミナラズ此整理ノ爲ニハ少クトモ七八千
万圓ノ削減ヲ出サナケレバナラヌ、是ガ政
府ノ力ヲ以テ一年ヤ二年デ出來ルカ、出來
ヌカ、自ラ天下ノ識者ガ判断シ得ルモノデ
アルト私ハ信ズルモノデアル
斯ル財政ノ危機ニ當テ、好ンデ減税ノ計
畫ヲ行ヒ、恆久的ノ政府財政計畫ニ非常ナ
而モ政府ハ七年度以降ニ於テハ、行政ノ
整理ヲ爲スト云フ、而シテ之ニ對シテハ、
アル缺陥ヲ與ヘルト云フコトハ、全ク是ハ無
謀ノ計畫デアルト言ハナケレバナリマセヌ、
而モ政府ハ七年度以降ニ於テハ、行政ノ
將來ニ於テ中央地方ヲ通ジ、各種ノ稅目ヲ
今回ノ提案サレタル四ツノ稅ト云フモノ
ハ、其整理ニ加ヘナイト云アコトヲ言明致
シテ居リマス、政府ノ言明如何ニ拘ラズ、
行政財政整理ノ題目ニ入レザルコトヲ得ナ
イコトハ明カデアル、左様デアルナラバ、
此計畫ナルモノハ、少クモ六年度ニ於テハ
其力ガアルカナレドモ、七年度以降ニ於テ
ハ、何等根據ナキ洵ニ不安定ナル財政計畫
デアル、然ラバ之ヲ急イデヤルト云フコト
ハ、政府方單ニ自己ノ豫テノ無謀ナル言質
ニ因ハレテ、國家財政ノ基礎ヲ危クセント
スルモノデアル、即チ全ク不謹慎ナル態度
デアルト、吾々ハ之ヲ表明スルモノデアリ
マス、政府ハ地租委譲法案ノ討議ニ當テ
シ、一面ニ於テハ公債ヲ募ルト云フコトハ、

矛盾デアルト云フコトヲ極力唱ヘテ居ル
ハナイカ、今政府ハ一方ニ於テ非募債主義
ニ反シタル二千万圓ノ失業公債ヲ起シ、一
方ニ於テ此減税ヲナスト云フコトハ、是ハ
即チ矛盾デハナイカ(拍手)
更ニ私ハ進ンデ此減税案ナルモノ、内容
ニ付テ検討ヲ加ヘント致スモノデアリマ
ス、此減税案ナルモノハ、御承知ノ如クニ
四ツノ稅目ヲ多數ノ稅目中ヨリ選定ヲ致シ
テ、之ニ減税ヲ加ヘ、又其保留財源ナルモ
ノヲ、此四ツノ財源ノ中ニ割振タモノデ
アルガ、吾々ハ此減税ノ爲ニ四ツヲ選定シ
タ其理由ヲ甚ラ聽イテモ、何等理論的事實
上ノ根據ヲ持テ居ラヌ、況ヤ此減税額ノ配
當ニ付テモ、殆ド其根據ヲ持テ居ラヌノデ
アル、即チ平年度ニ於ケル減税額ノ各稅目
ノ配當率ヲ見ルト、地租ニ於テハ千八十万
圓、營業収益稅ニ於テハ四百六十萬圓、砂
糖消費稅ニ於テハ六百万圓、織物消費稅ニ
於テハ四百十三萬圓デアルガ、此地租ハ申
スマデモナク景氣不景氣ニ依テ其稅率ニ
變動ヲ及スモノデハナイ、然ルニ營業収益
稅ナルモノハ、是亦申スマデモナク營業收
益ノ増減ニ依テ比例的ニ増減ヲ致スモノ
デアル、砂糖消費稅ハ如何、是ハ從量稅デ
アルニ依テ、其砂糖ノ價格ノ如何ニ拘ラ
ズ、一定ノ稅ヲ課セラレルノデアル、織物
消費稅ハ如何、從價稅デアルニ依テ、是ハ
不況ニ應ジテ比例的ニ此稅目ハ増減セラレ
ル、ソコテ之ヲ具體的ニ見ルト、營業収益
稅ハ六年度政府ノ發表ニ依ルモ、不況ノ結
果當然ノ減トシテ千三百万圓ガ計上サレテ
居ル、然ルニ地租ニハ一厘一毛ノ減收モナ
イ、即チ當然減ジヤウガナイノデアル、故ニ
此營業収益稅ノ減收千三百万圓ト、今回配當
額ト云フモノハ、即チは負擔輕減ト言ハ
總花的ニ宣傳的ニ、虛榮的ナ稅率ヲ作ル
ト云フコトハ、全ク是ハ政府ガ國民ヲ思フ
所ノ誠意ナキコトヲ示スモノデアルト私ハ
思フノデアル、(發言スル者アリ)高橋君、

トテアリマス、砂糖消費稅、織物消費稅ノ
ヲ失シテ居ルト云フコトハ、當然明カナコ
ト、等差ガアルト云フコトハ、所謂此所得
稅ノ兩翼タル補完稅トシテ、地租ニハ酷ニ
シテ營業収益稅ニハ甚ダ寛デアル、其均衡
得ルト思フノデアル、斯ノ如クニシテ殆得
ス、此減税案ナルモノハ、御承知ノ如クニ
四ツノ稅目ヲ多數ノ稅目中ヨリ選定ヲ致シ
テ、之ニ減税ヲ加ヘ、又其保留財源ナルモ
ノヲ、此四ツノ財源ノ中ニ割振タモノデ
アルガ、吾々ハ此減税ノ爲ニ四ツヲ選定シ
タ其理由ヲ甚ラ聽イテモ、何等理論的事實
上ノ根據ヲ持テ居ラヌ、況ヤ此減税額ノ配
當ニ付テモ、殆ド其根據ヲ持テ居ラヌノデ
アル、即チ平年度ニ於ケル減税額ノ各稅目
ノ配當率ヲ見ルト、地租ニ於テハ千八十万
圓、營業収益稅ニ於テハ四百六十萬圓、砂
糖消費稅ニ於テハ六百万圓、織物消費稅ニ
於テハ四百十三萬圓デアルガ、此地租ハ申
スマデモナク景氣不景氣ニ依テ其稅率ニ
變動ヲ及スモノデハナイ、然ルニ營業収益
稅ナルモノハ、是亦申スマデモナク營業收
益ノ増減ニ依テ比例的ニ増減ヲ致スモノ
デアル、砂糖消費稅ハ如何、是ハ從量稅デ
アルニ依テ、其砂糖ノ價格ノ如何ニ拘ラ
ズ、一定ノ稅ヲ課セラレルノデアル、織物
消費稅ハ如何、從價稅デアルニ依テ、是ハ
不況ニ應ジテ比例的ニ此稅目ハ増減セラレ
ル、ソコテ之ヲ具體的ニ見ルト、營業収益
稅ハ六年度政府ノ發表ニ依ルモ、不況ノ結
果當然ノ減トシテ千三百万圓ガ計上サレテ
居ル、然ルニ地租ニハ一厘一毛ノ減收モナ
イ、即チ當然減ジヤウガナイノデアル、故ニ
此營業収益稅ノ減收千三百万圓ト、今回配當
額ト云フモノハ、即チは負擔輕減ト言ハ
總花的ニ宣傳的ニ、虛榮的ナ稅率ヲ作ル
ト云フコトハ、全ク是ハ政府ガ國民ヲ思フ
所ノ誠意ナキコトヲ示スモノデアルト私ハ
思フノデアル、(發言スル者アリ)高橋君、

リ、等差ガアルト云フコトハ、所謂此所得
稅ノ兩翼タル補完稅トシテ、地租ニハ酷ニ
シテ營業収益稅ニハ甚ダ寛デアル、其均衡
得ルト思フノデアル、斯ノ如クニシテ殆得
ス、此減税案ナルモノハ、御承知ノ如クニ
四ツノ稅目ヲ多數ノ稅目中ヨリ選定ヲ致シ
テ、之ニ減税ヲ加ヘ、又其保留財源ナルモ
ノヲ、此四ツノ財源ノ中ニ割振タモノデ
アルガ、吾々ハ此減税ノ爲ニ四ツヲ選定シ
タ其理由ヲ甚ラ聽イテモ、何等理論的事實
上ノ根據ヲ持テ居ラヌ、況ヤ此減税額ノ配
當ニ付テモ、殆ド其根據ヲ持テ居ラヌノデ
アル、即チ平年度ニ於ケル減税額ノ各稅目
ノ配當率ヲ見ルト、地租ニ於テハ千八十万
圓、營業収益稅ニ於テハ四百六十萬圓、砂
糖消費稅ニ於テハ六百万圓、織物消費稅ニ
於テハ四百十三萬圓デアルガ、此地租ハ申
スマデモナク景氣不景氣ニ依テ其稅率ニ
變動ヲ及スモノデハナイ、然ルニ營業収益
稅ナルモノハ、是亦申スマデモナク營業收
益ノ増減ニ依テ比例的ニ増減ヲ致スモノ
デアル、砂糖消費稅ハ如何、是ハ從量稅デ
アルニ依テ、其砂糖ノ價格ノ如何ニ拘ラ
ズ、一定ノ稅ヲ課セラレルノデアル、織物
消費稅ハ如何、從價稅デアルニ依テ、是ハ
不況ニ應ジテ比例的ニ此稅目ハ増減セラレ
ル、ソコテ之ヲ具體的ニ見ルト、營業収益
稅ハ六年度政府ノ發表ニ依ルモ、不況ノ結
果當然ノ減トシテ千三百万圓ガ計上サレテ
居ル、然ルニ地租ニハ一厘一毛ノ減收モナ
イ、即チ當然減ジヤウガナイノデアル、故ニ
此營業収益稅ノ減收千三百万圓ト、今回配當
額ト云フモノハ、即チは負擔輕減ト言ハ
總花的ニ宣傳的ニ、虛榮的ナ稅率ヲ作ル
ト云フコトハ、全ク是ハ政府ガ國民ヲ思フ
所ノ誠意ナキコトヲ示スモノデアルト私ハ
思フノデアル、(發言スル者アリ)高橋君、

要ナル財源デアル所得稅附加稅ヲ奪^フテ、之ヲ府縣ニ與ヘタ結果、市町村ナルモノハ此所得稅附加稅ノ取レザル結果トシテ、是亦非常ナル悲況ニ陥^ルテ居ルコトハ、少シク地方政府ニ思^フ致ス者ハ首肯シナケレバナラヌ、故ニ我ガ政友會ハ營業稅、地租ノ此兩稅ヲ地方ニ委譲^フ致シテ、以テ此地方ノ財源ヲ涵養センコトヲ唱^フテ居ルモノニアリ、(發言スル者アリ)諸君ハ今私ノ言ウタ事ニ付テ妨害ヲシテ居ルヤウデアルガ、能ク考^フテ見タラ宜イ、諸君ノ民政黨ヲ統率致シテ居ル濱口君、此諸君ノ總裁タル所ノ濱口君ガ、臨時財政經濟調査會ニ於テ何ヲ言^フテ居ルカ、諸君ハソレヲ顧ミタナラバ宜イノデアル、濱口君、委員ノ一人トシテ起^フテ演説ヲシテ、吾々ハ此兩稅委譲ニ賛成スル者デアルト言^フテ居ルデハナイカ、民政黨ノ諸君ハ少シク恥ヲ知ルガ宜イ(拍手)

(發言スル者多シ)

○議長(藤澤幾之輔君) 静肅ニ願ヒマス——
○岡田忠彦君(續) 政府ノ今回ノ減稅ノ結果ニ依ル地方稅ニ對スル方策ヲ繹ネテ見ルト云フト、大體ニ於テ地方ノ收入ハ増減ナカラシメル趣旨デアルト云フコトヲ辯明サレ居ル、而モ尙ホ此計畫ノ下ニ於テモ、府縣町村ニ於テハ減收ヲ免レテ居ラヌ、居ラヌコトハ政府ノ發表セル數字ガ之ヲ證明致シテ居ル、尚且此現狀ニ當^ルテ政府ハ此減收ニ對シ、國家トシテ何等救濟ノ方法ヲ講ゼズ、自然ニ放任致シテ居ル有様ト云フモノハ、如何ニ内務大臣ガ地方ノ行政ニ對シテ無關心デアリ、無誠意デアルカト云フコト語ルモノデアルト思フノデアル(拍手)
而モ又此地方稅制ノ調節増減ヲ爲スニ當^ルテ、政府ハ地方團體ノ箇別性ト云フモノヲ全^ハシ^ク開却シテ居ル、即チ大體ニ於テ増減ハナイト言^フテモ、簡々ノ府縣、箇々ノ町村ニテハ、或モノハ非常ナル增收トナリ、或モノハ非常ナル減收トナル、之ヲ總ジテ言

フナラバ、富裕ナル所ノ團體ニ對シテハ、益^フ其財源ヲ奪^フテ窮地ニ陥^ルト云フ結果ヲ呈^シテ居ルノデアル、ソコテ六團體ニ向^フテハ、益^フ其財源ヲ奪^フテ窮地ニ陥^ルト云フ結果ヲ呈^シテ居ルノデアル、政府ハ、況ヤ又地租ニ付テ之ヲ言フナラバ、政府ハ、今回地租ヲ賃貸價格ニ改メタノミナラズ、斯^ル事ニ付テ妨害ヲシテ居ルヤウデアルガ、能ク考^フテ見タラ宜イ、諸君ノ民政黨ヲ統率致シテ居ル濱口君、此諸君ノ總裁タル所ノ濱口君ガ、臨時財政經濟調査會ニ於テ何ヲ言^フテ居ルカ、諸君ハソレヲ顧ミタナラバ宜イノデアル、濱口君、委員ノ一人トシテ起^フテ演説ヲシテ、吾々ハ此兩稅委譲ニ賛成スル者デアルト言^フテ居ルデハナイカ、民政黨ノ諸君ハ少シク恥ヲ知ルガ宜イ(拍手)

(發言スル者多シ)

目ヲ塞ギ、耳ヲ塞イデ、之ヲ聽カザラン真似ヲ致シテ居ルト云フコトハ、哀レムベキモノデアリマス(拍手)又大部分ノ府縣町村ガ減税トナルコトハ、先程申ス通りデアルガ、其減税ノ結果ハ農村ノ財源ト云フモノニ對シテ、非常ナル大損害ヲ與ヘル結果トナル滋賀縣ニ於テハ百九十五ノ町村ノ中、實ニ百八十六ノ町村ガ減收ヲ來シテ居ル、富山縣ニ於テハ二百五十三ノ町村中、二百二十五ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、岡山縣ニ於テハ三百九十八ノ町村中、三百七十八ガ減收ヲナシテ居ル、三重縣ニ於テハ百ノ町村ノ中デ、九十六ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、殊ニ滋賀縣ノ坂田郡神照村ノ如キハ、地租ノ附加税ノ減收ガ七千圓ニ達シテ居ルノデアリマスガ、此村ハ戸數割が一万七百圓ノ戸數割ノ處デアル、此一万七百圓是レ即チ一村財政ノ破壊デアルノミナラズ、之ヲ辻接ヲ合ハセんガ爲ニ、少數地主ノ減税ノ爲ニ、多數ノ庶民階級ノ戸數割ニ増ヲナスト云フ、非常ナ反社會政策的ノ結果ヲ生ズルモノデアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)此減收ノ填補ニ對シテ政府ノ方策如何ト質シタ所ガ、政府ハ先以テ財政ノ緊縮ヲ以テ之ニ應ズルト云フコトデアル、然レドモ政府ハ今日ノ現状ニ於テ、市町村ニ致セ、府縣ニ致セ、財政ノ緊縮ヲ爲シ得ルカドウカト云フコトヲ考へテ貰ヒタイ、先程モ申ス如クニ、内務大臣ガ非常ナル勢ヲ以テ、府縣市町村ノ財政緊縮ヲ獎勵致シタカナレドモ、既ニ昭和五年度ニ於テハ昭和四年度ノ豫算ニ較ベテ、府縣市町村ノ豫算ハ非常ナルニ厖大ヲ致シテ居ルデハナイカ、即チ増加ヲナシテ居ル所ノ府縣ト云フモノハ、全國四十七府縣ノ中、實ニ三十三府縣ノ多キニ瓦ツテ居ル、一面ニ於テハ租稅ノ減收三千三百圓以上ニ達シ、公債増發ハ三千

萬圓以上ニ達シ、全ク政府ノ訓令ヲ裏切り、政府ノ監督ト云フモノハ威力ナキコトヲ示シテ居ルノデアル、然ルニ此現状ニ於テ尙ニ對シテ、非常ナル大損害ヲ與ヘル結果トナル滋賀縣ニ於テハ百九十五ノ町村ノ中、實ニ百八十六ノ町村ガ減收ヲ來シテ居ル、富山縣ニ於テハ二百五十三ノ町村中、二百二十五ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、岡山縣ニ於テハ三百九十八ノ町村中、三百七十八ガ減收ヲナシテ居ル、三重縣ニ於テハ百ノ町村ノ中デ、九十六ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、殊ニ滋賀縣ノ坂田郡神照村ノ如キハ、地租ノ附加税ノ減收ガ七千圓ニ達シテ居ルノデアリマスガ、此村ハ戸數割が一万七百圓ノ戸數割ノ處デアル、此一万七百圓ト云フ戸數割ハ、既ニ重イ其上ニ、地租ノ七千三百圓ノ減收ノ爲ニ、是ガ再ビ戸數割ノ上ニ臨ンデ來ルト、斯様ニナツタナラバ、是レ即チ一村財政ノ破壊デアルノミナラズ、之ヲ辻接ヲ合ハセんガ爲ニ、少數地主ノ減税ノ爲ニ、多數ノ庶民階級ノ戸數割ニ増ヲナスト云フ、非常ナ反社會政策的ノ結果ヲ生ズルモノデアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)此減收ノ填補ニ對シテ政府ノ方策如何ト質シタ所ガ、政府ハ先以テ財政ノ緊縮ヲ以テ之ニ應ズルト云フコトデアル、然レドモ政府ハ今日ノ現状ニ於テ、市町村ニ致セ、府縣ニ致セ、財政ノ緊縮ヲ爲シ得ルカドウカト云フコトヲ考へテ貰ヒタイ、先程モ申ス如クニ、内務大臣ガ非常ナル勢ヲ以テ、府縣市町村ノ財政緊縮ヲ獎勵致シタカナレドモ、既ニ昭和五年度ニ於テハ昭和四年度ノ豫算ニ較ベテ、府縣市町村ノ豫算ハ非常ナルニ厖大ヲ致シテ居ルデハナイカ、即チ増加ヲナシテ居ル所ノ府縣ト云フモノハ、全國四十七府縣ノ中、實ニ三十三府縣ノ多キニ瓦ツテ居ル、一面ニ於テハ租稅ノ減收三千三百圓以上ニ達シ、公債増發ハ三千

萬圓以上ニ達シ、全ク政府ノ訓令ヲ裏切り、政府ノ監督ト云フモノハ威力ナキコトヲ示シテ居ルノデアル、然ルニ此現状ニ於テ尙ニ對シテ、非常ナル大損害ヲ與ヘル結果トナル滋賀縣ニ於テハ百九十五ノ町村ノ中、實ニ百八十六ノ町村ガ減收ヲ來シテ居ル、富山縣ニ於テハ二百五十三ノ町村中、二百二十五ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、岡山縣ニ於テハ三百九十八ノ町村中、三百七十八ガ減收ヲナシテ居ル、三重縣ニ於テハ百ノ町村ノ中デ、九十六ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、殊ニ滋賀縣ノ坂田郡神照村ノ如キハ、地租ノ附加税ノ減收ガ七千圓ニ達シテ居ルノデアリマスガ、此村ハ戸數割が一万七百圓ノ戸數割ノ處デアル、此一万七百圓ト云フ戸數割ハ、既ニ重イ其上ニ、地租ノ七千三百圓ノ減收ノ爲ニ、是ガ再ビ戸數割ノ上ニ臨ンデ來ルト、斯様ニナツタナラバ、是レ即チ一村財政ノ破壊デアルノミナラズ、之ヲ辻接ヲ合ハセんガ爲ニ、少數地主ノ減税ノ爲ニ、多數ノ庶民階級ノ戸數割ニ増ヲナスト云フ、非常ナ反社會政策的ノ結果ヲ生ズルモノデアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)此減收ノ填補ニ對シテ政府ノ方策如何ト質シタ所ガ、政府ハ先以テ財政ノ緊縮ヲ以テ之ニ應ズルト云フコトデアル、然レドモ政府ハ今日ノ現状ニ於テ、市町村ニ致セ、府縣ニ致セ、財政ノ緊縮ヲ爲シ得ルカドウカト云フコトヲ考へテ貰ヒタイ、先程モ申ス如クニ、内務大臣ガ非常ナル勢ヲ以テ、府縣市町村ノ財政緊縮ヲ獎勵致シタカナレドモ、既ニ昭和五年度ニ於テハ昭和四年度ノ豫算ニ較ベテ、府縣市町村ノ豫算ハ非常ナルニ厖大ヲ致シテ居ルデハナイカ、即チ増加ヲナシテ居ル所ノ府縣ト云フモノハ、全國四十七府縣ノ中、實ニ三十三府縣ノ多キニ瓦ツテ居ル、一面ニ於テハ租稅ノ減收三千三百圓以上ニ達シ、公債増發ハ三千

萬圓以上ニ達シ、全ク政府ノ訓令ヲ裏切り、政府ノ監督ト云フモノハ威力ナキコトヲ示シテ居ルノデアル、然ルニ此現状ニ於テ尙ニ對シテ、非常ナル大損害ヲ與ヘル結果トナル滋賀縣ニ於テハ百九十五ノ町村ノ中、實ニ百八十六ノ町村ガ減收ヲ來シテ居ル、富山縣ニ於テハ二百五十三ノ町村中、二百二十五ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、岡山縣ニ於テハ三百九十八ノ町村中、三百七十八ガ減收ヲナシテ居ル、三重縣ニ於テハ百ノ町村ノ中デ、九十六ノ町村ガ減收ヲナシテ居ル、殊ニ滋賀縣ノ坂田郡神照村ノ如キハ、地租ノ附加税ノ減收ガ七千圓ニ達シテ居ルノデアリマスガ、此村ハ戸數割が一万七百圓ノ戸數割ノ處デアル、此一万七百圓ト云フ戸數割ハ、既ニ重イ其上ニ、地租ノ七千三百圓ノ減收ノ爲ニ、是ガ再ビ戸數割ノ上ニ臨ンデ來ルト、斯様ニナツタナラバ、是レ即チ一村財政ノ破壊デアルノミナラズ、之ヲ辻接ヲ合ハセんガ爲ニ、少數地主ノ減税ノ爲ニ、多數ノ庶民階級ノ戸數割ニ増ヲナスト云フ、非常ナ反社會政策的ノ結果ヲ生ズルモノデアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)此減收ノ填補ニ對シテ政府ノ方策如何ト質シタ所ガ、政府ハ先以テ財政ノ緊縮ヲ以テ之ニ應ズルト云フコトデアル、然レドモ政府ハ今日ノ現状ニ於テ、市町村ニ致セ、府縣ニ致セ、財政ノ緊縮ヲ爲シ得ルカドウカト云フコトヲ考へテ貰ヒタイ、先程モ申ス如クニ、内務大臣ガ非常ナル勢ヲ以テ、府縣市町村ノ財政緊縮ヲ獎勵致シタカナレドモ、既ニ昭和五年度ニ於テハ昭和四年度ノ豫算ニ較ベテ、府縣市町村ノ豫算ハ非常ナルニ厖大ヲ致シテ居ルデハナイカ、即チ増加ヲナシテ居ル所ノ府縣ト云フモノハ、全國四十七府縣ノ中、實ニ三十三府縣ノ多キニ瓦ツテ居ル、一面ニ於テハ租稅ノ減收三千三百圓以上ニ達シ、公債増發ハ三千

五省カ六省デ宜イト考ヘテ居ル、英國モモ
最近ハ餘リ閭僚ガ多クテ、省ガ多クテ、統
轄ガ出來ナイト云フ點カラ、労働黨ノ「モズ
レー」ハ勞働黨ヲ脫黨シテ、一派ヲ立テヨウ
シテ居ル、サウ云フ空氣ニナッテ居ル、伊
太利ノ「ムソリニ」ナドモ、省ノ數ヲ成タ
ケ少クシヨウトシテ、商工省ト農林省ト勞
働省、其他一省ヲ併セテ、一つノ産業省ニ
シテ居ル、ソレハ世界ノ大勢ガサウ云フ風
潮ニ向テ居ル、我國ニ於テモ今日金解禁ヲ
ヤク後ニ於テ、國民ノ負擔ヲ輕減シテ、サ
ウシテ新シイ方面ノ有要ノ事ヲシヨウト思
フナラバ、軍事費ノ節約ト共ニ行政費ノ節
約ヲシナケレバ出來ナイノデアルケレドモ、
政府ノ言フ所ノ行政財政ノ整理ト云フモ
ノハ、斯ンナ大キイ點ニ觸レテナイヤウデ
アルガ、今日ニ於テモ尙ホ政府ハ大整理ヲ
ヤリ、大改革ヲヤルト云フ御意見ガナイカ
ドウカ、之ヲ伺ヒタイ、果シテ此大改革、
大整理ヲヤラズシテ、將來ノ財政ノ切盛リ
ガ出來ルカドウカト云フコトヲ、井上大藏
大臣ニ伺ヒタイノデアリマス。

其次ニ私ハ特ニ井上大藏大臣ニ御伺致シ
タインデアリマスルガ、減稅委員會デ小川
政務次官ト井上大藏大臣ノ意見ガ違ウテ、
大分間著ヲ起シテ居タヤウナコトヲ仄ニ
聞イテ居リマスルガ、其事ハ產業政策ヲ租
稅立法ノ上ニ織込ムカドウカト云フコトデ
アツノデアリマスガ、結局產業政策ハ租
稅立法ノ上ニ織込マナケレバナラヌト云フ
ヤウナ結論ニ達シタヤウデアリマス、是ハ
私ハ至極同感デ、結構ナコト、竊ニ思ウテ
居ルノデアリマスルガ、特ニ此際御伺致シ
タインハ、金解禁後非常ニ財界ハ不況デア
リマスルガ、不況ノ際ノ租稅立法ハ、ドウ
シテモ産業ヲ保護シ、生産ヲ保護スルヤウ
ナ立法ニシナケレバナラヌ、是ハ英吉利ノ
現在ヲ見マシテモ、此方面ニ注意ガ缺ケテ
居タク爲ニ、英吉利ハ非常ナ難局ニ立テ居
ル、伊太利ハ此方面ニ十分ナ注意ヲシタ爲

ニ、將ニ滅亡ニ瀕シテ居タ所ノ伊太利ガ、
勵保護ノ爲ニ、紡織物ニ對スル所ノ課稅モ
免除スルガ宜イ、是ハ當業者及ビ相當關係
ノ人モ最近盛ニ唱ヘテ居ルノデアリマスカ
タカラデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、此問題ヲ學者ハ所謂生產主義ノ租稅制
度ト申スノデアリマスルガ、井上サンハ來
年ノ租稅整理ヲ爲スニ方々テ、斷乎タル方針
ヲ以テ——或ル一部ノ社會政策的ノ考デア
ルトカ、或ハ社會主義的ノ意見デアルトカ
云フコトハ、勿論入レナケレバナラヌノデ
アリマスルガ、日本ノ此方面ニ關スル意見
ト云フモノハ、兎角社會政策的、社會主義
的ニ傾イテ居ルト私ハ考ヘルノデアブテ、非
常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスルガ、斯ウ
云フ方針デ租稅ノ立法ヲナサル御方針デア
ルカドウカト云フコトヲ、御伺致シタイン
デアリマス。

ソレカラニ關聯致シマシテ營業收益稅
ハ、私ハドウ考ヘテモ非常ナ惡イ法律デア
ラウト考ヘルノデアリマス、營業稅ガ營業
収益稅ニナクケレドモ、チヨトモ内容ニ
於テ改善セラレテナイ、形ニ於テハ改善セ
ラレタケレドモ、内容ニ於テ改善セラレテ
ナイカラ、出來ルナラバ之ヲ廢止シテ、別
ノ方法ヲ考ヘルガ宜イト思フノデアリマス
ルガ、ソレハドウカ、廢止ガ出來ナイナラ
バ、免稅點ヲ一千圓位マダ引上げルト云フ
コトヲ、將來斷行セラレテハドウカト云フ
コトヲ伺ヒタイ。

ソレカラニ次ハ織物消費稅ノ問題デアリ
マス、私ハ之ヲ全般スルガ宜イト云フ考デア
リマス、何故カト云フト、生絲產業、紡織
物產業、即チ紡業ヲ保護シ獎勵スル上カラ
見テ、紡織物ノ稅ヲ免除シタナラバ、ソレ
タインハ、金解禁後非常ニ財界ハ不況デア
リマスルガ、不況ノ際ノ租稅立法ハ、ドウ
シテモ産業ヲ保護シ、生産ヲ保護スルヤウ
ナ立法ニシナケレバナラヌ、是ハ英吉利ノ
現在ヲ見マシテモ、此方面ニ注意ガ缺ケテ
居タク爲ニ、英吉利ハ非常ナ難局ニ立テ居
ル、伊太利ハ此方面ニ十分ナ注意ヲシタ爲

ニ、將ニ滅亡ニ瀕シテ居タ所ノ伊太利ガ、
勵保護ノ爲ニ、紡織物ニ對スル所ノ課稅モ
免除スルガ宜イ、是ハ當業者及ビ相當關係
ノ人モ最近盛ニ唱ヘテ居ルノデアリマスカ
タカラデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、此問題ヲ學者ハ所謂生產主義ノ租稅制
度ト申スノデアリマスルガ、井上サンハ來
年ノ租稅整理ヲ爲スニ方々テ、斷乎タル方針
ヲ以テ——或ル一部ノ社會政策的ノ考デア
ルトカ、或ハ社會主義的ノ意見デアルトカ
云フコトハ、勿論入レナケレバナラヌノデ
アリマスルガ、日本ノ此方面ニ關スル意見
ト云フモノハ、兎角社會政策的、社會主義
的ニ傾イテ居ルト私ハ考ヘルノデアブテ、非
常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスルガ、斯ウ
云フ方針デ租稅ノ立法ヲナサル御方針デア
ルカドウカト云フコトヲ、御伺致シタイン
デアリマス。

ソレカラ私ハ此法律案ニ付キマシテハ、
事實反對スペキカ贊成スペキカト云フコト
ニ實ハ迷ウテ居ル、何故カト云フト、假令
一年デアブテモ減稅ヲスレバ、國民ハソレダ
ケ負擔ガ輕クナル、僅カデアブテモ輕クナ
ル、爲スハ迷ウテ居ル、何故カト云フト、假令
一年デアブテモ減稅ヲスレバ、國民ハソレダ
ケ負擔ガ輕クナル、僅カデアブテモ輕クナ
ル、爲スハ爲サマルニ勝ル、爲サザルハ爲
スニ劣ルデアリマスカラ、成ベク此案ニ贊
成シクタイト云フ考ヲ以テ、色々考ヘテ見マ
スルケレドモ、中々疑問ガ澤山生ジテ、七
年後ニ於テハ財政ガ非常ナ難局ニ立ツ
ト思フ、譬ヘテ見マスルト云フト、剩餘金
ノ無イコトハ六年度ト同様デアリマス、救
護法モヤラナケレバナラヌ、東京市及ビ横
濱市ニ對スル外債ノ利子ノ補給モシテヤラ
シナケレバナラヌ、米ノ始末モシナケレバナ
ラナイ、生絲ノ始末モシナケレバナラナイ、
或ハ廢兵、兵役義務者ノ優遇ニ關スル事モ
シナケレバナラナイト云フヤウナ事ヲ考ヘ
マスト云フト、七年度ハ非常ニ財政ガ困難
ニナリマスカラ、ドウシテモ二千三百三十萬
圓ト云フ七年度ノ減稅ハ不可能ニナル、八
年度モ不可能、九年度モ不可能、十年度モ
不可能ニナルデアラウ、サウ云フヤウナ考
ニナラザルヲ得ヌノデアリマス、斯様ナ難
局ニ立ツテ、政府ハ官吏ノ減俸ヲヤルカト問
ウテモ、ヤルトハ申シマセヌ、或ハ稅制ノ整
理ノ際ニ、增稅ヲスルノデハナイカト伺ヒ
成ベク贊成ヲシタイト云フコトデ練ツタノ

勵保護ノ爲ニ、紡織物ニ對スル所ノ課稅モ
免除スルガ宜イ、是ハ當業者及ビ相當關係
ノ人モ最近盛ニ唱ヘテ居ルノデアリマスカ
タカラデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、此問題ヲ學者ハ所謂生產主義ノ租稅制
度ト申スノデアリマスルガ、井上サンハ來
年ノ租稅整理ヲ爲スニ方々テ、斷乎タル方針
ヲ以テ——或ル一部ノ社會政策的ノ考デア
ルトカ、或ハ社會主義的ノ意見デアルトカ
云フコトハ、勿論入レナケレバナラヌノデ
アリマスルガ、日本ノ此方面ニ關スル意見
ト云フモノハ、兎角社會政策的、社會主義
的ニ傾イテ居ルト私ハ考ヘルノデアブテ、非
常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスルガ、斯ウ
云フ方針デ租稅ノ立法ヲナサル御方針デア
ルカドウカト云フコトヲ、御伺致シタイン
デアリマス。

ソレカラ私ハ此法律案ニ付キマシテハ、
事實反對スペキカ贊成スペキカト云フコト
ニ實ハ迷ウテ居ル、何故カト云フト、假令
一年デアブテモ減稅ヲスレバ、國民ハソレダ
ケ負擔ガ輕クナル、僅カデアブテモ輕クナ
ル、爲スハ迷ウテ居ル、何故カト云フト、假令
一年デアブテモ減稅ヲスレバ、國民ハソレダ
ケ負擔ガ輕クナル、僅カデアブテモ輕クナ
ル、爲スハ爲サマルニ勝ル、爲サザルハ爲
スニ劣ルデアリマスカラ、成ベク此案ニ贊
成シクタイト云フ考ヲ以テ、色々考ヘテ見マ
スルケレドモ、中々疑問ガ澤山生ジテ、七
年後ニ於テハ財政ガ非常ナ難局ニ立ツ
ト思フ、譬ヘテ見マスルト云フト、剩餘金
ノ無イコトハ六年度ト同様デアリマス、救
護法モヤラナケレバナラヌ、東京市及ビ横
濱市ニ對スル外債ノ利子ノ補給モシテヤラ
シナケレバナラヌ、米ノ始末モシナケレバナ
ラナイ、生絲ノ始末モシナケレバナラナイ、
或ハ廢兵、兵役義務者ノ優遇ニ關スル事モ
シナケレバナラナイト云フヤウナ事ヲ考ヘ
マスト云フト、七年度ハ非常ニ財政ガ困難
ニナリマスカラ、ドウシテモ二千三百三十萬
圓ト云フ七年度ノ減稅ハ不可能ニナル、八
年度モ不可能、九年度モ不可能、十年度モ
不可能ニナルデアラウ、サウ云フヤウナ考
ニナラザルヲ得ヌノデアリマス、斯様ナ難
局ニ立ツテ、政府ハ官吏ノ減俸ヲヤルカト問
ウテモ、ヤルトハ申シマセヌ、或ハ稅制ノ整
理ノ際ニ、增稅ヲスルノデハナイカト伺ヒ
成ベク贊成ヲシタイト云フコトデ練ツタノ

デアリマスケレドモ、七年度、八年度、九年度ノ將來ヲ考へルト云フト、此稅制度ハ不徹底デアルカラ、來年稅制整理ヲヤルナルバ、其時ニ全部ヲ疊込ミ、織込ンデ、總體的ノ體系ヲ立テ、ヤラレタラドウカ、是ガ明カニナルナラバ、私共ハ進ンデ贅成ヲスル考デアリマスルカラ、此點ヲ明快ニ御答辯アランコトヲ御願致シマス。

○國務大臣(井上準之助君) 鷺野君ノ御問ニ對シテ御答致シマスガ、第一ノ脫稅、脫稅ハ鷺野君ノ指摘セラレルヤウニ、吾々ハ非常ニ多イトモ考へマセヌ、併シ脫稅ハ常ニアルコトデアリマスガ、是ハ法制ニ依ラズシテ、私ハ取締ニ依テ脱稅ハ少クスルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス、併シ只今附加ヘテ仰セラレタ、或階級ニ酷ニシテ、或階級ニ寛ニスルト云ヤウナコトハアッテハナラヌノデアリマス、政府ハ法律ノ最モ忠實ナル執行者ト云フ意味カラシテ、左様ナ事ハアッテハナラヌ、又ヤラヌ積リデ居ゲテ、是等ガ所得稅ハ課シテ居ナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ法律ニ依リマス

ソレカラ大臣次官其他ノ收入ヲ舉モ忠實ナル執行者ト云フ意味カラシテ、左様ナ事ハアッテハナラヌ、又ヤラヌ積リデ居ゲテ、是等ガ所得稅ハ課シテ居ナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ法律ニ依リマス

非募債主義ニ依テ獻金ヲシタ高ガ二万四千四件、總額ニ致シマシテ、一昨年ノ七月カラ昨年ノ暮マデ、五十三万七千百十二圓アリマス、吾々ハ非募債主義ヲ唱ヘテ、今日マテ度々申上ゲマシタ如ク、決シテ此主義ガ惡イト考ヘマセヌ、又此主義ヲ決シテ公債或ハ鐵道公債ヲ募リマシタコトハ、今日ノ特別ノ場合ニ已ムヲ得ヌ處置シテ、一時限リ之ヲ取計シタノデアリマシテ、其計畫ヲ立テマスニ付テモ、決シテ放漫ニ流レナイヤウニ、十分注意シタ結果デアリマスカラ、此國民ノ公債償還資金獻納ニ對シテ

年度ノ將來ヲ考へルト云フト、此稅制度ハ不徹底デアルカラ、來年稅制整理ヲヤルナルバ、其時ニ全部ヲ疊込ミ、織込ンデ、總體的ノ體系ヲ立テ、ヤラレタラドウカ、是ガ明カニナルナラバ、私共ハ進ンデ贅成ヲスル考デアリマスルカラ、此點ヲ明快ニ御答辯アランコトヲ御願致シマス。

○國務大臣(井上準之助君) 鷺野君ノ御問ニ對シテ御答致シマスガ、第一ノ脫稅、脫

一層嚴格ニシテ、所謂苛斂誅求ニ流レルデア

ヲレカラ今日ノ收入減ニ政府ノ財政計畫ヲ安全ニ持テ行カウトスレバ、政府ハ一昨年昨年ニ行、タヤウナ稅ノ徵收方法ヲ尙ホ

續ケテ行ク積リデアリマス

ノ非募債主義ヲ決シテ吾々ハ後悔モゼズ、拋棄モシテ居ナイ、尙ホ此儘ズット將來ニ

遺憾至極デアル次第デアリマス

ソレカラ今日ノ收入減ニ政府ノ財政計畫ヲ安全ニ持テ行カウトスレバ、政府ハ一昨年昨年ニ行、タヤウナ稅ノ徵收方法ヲ尙ホ

一層嚴格ニシテ、所謂苛斂誅求ニ流レルデア

ヲレカラ云フ御想像デアリマシタガ、度

度申上ゲマスヤウニ、斯様ナ經濟界ノ狀態ニ付キマシテハ、法律ノ最モ忠實ナル執行者ガナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌコトデアリマス、其點ニ付キマシテハ、吾々不肖ナリト雖モ十分注意シテ居ル 次第デアリマス

ス

尙ホ昭和四年度ノ財政ノ決算ニ付テノ御話ハ、政府ガ三月中ニ所得稅ヲ、是マデ繰上ゲテ徵收シテ居タノヲ繰下ゲタカラ、昭和四年度ニ左様ナ決算狀態ヲ出シテ來タノ

话ハ、政府ガ三月中ニ所得稅ヲ、是マデ繰上ゲテ徵收シテ居タノヲ繰下ゲタカラ、昭和四年度ニ左様ナ決算狀態ヲ出シテ來タノ

ス

尙ホ稅ノ立法ヲ爲ス場合ニ於キマシテ、又世界的ノ大勢ヲ見マシテモ、左様ニナッテ

鷺野氏ノ意見トシテ、大ニ尊重シテ伺テ

者ガナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時ニ、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

者ハ、最モ注意シナケレバナラヌト同時に、今日ノ經濟界ニ處スル處置ト致シマシテハ、苛斂誅求ノ如キハ、政府當局者ノ、殊ニ稅務關係ノ

〔國務大臣男爵安保清種君登壇〕

○國務大臣(男爵安保清種君) 驚野サンカラ御尋ガアリマシタニ付テ御答ヲ申上ゲマス

今回提出致シテ居リマス海軍兵力整備計畫以外ニ、昭和十一年以前ニ於テ新ダナル海軍ノ計畫ヲ樹デルコトノ必要ハ認メテ居ルノデアリマスガ、其内容ト時期ニ付キマシテハ、内外諸般ノ情況ニ依リマス次第デアリマシテ、今日未ダ其具體的計畫ヲ持テ居ラヌト云フ次第デアリマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 幣原臨時首相代理(國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇) 撤回ノ動議ヲ付キマシテ、内閣ヲ樹デルコトノ必要ハ認メテ居ルノデアリマスガ、其内容ト時期ニ付キマシテハ、内外諸般ノ情況ニ依リマス次第デアリマシテ、今日未ダ其具體的計畫ヲ持テ居ラヌト云フ次第デアリマス(拍手)

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 驚野君ガ私ニ御問ニナリマシタ點ハ、極メテ簡単デアリマスカラ、私モ簡單ニ御答申上ケマス

第一ノ點ハ來ルベキ問題ノ範圍程度ト云フ瓦ツテ問題ヲ審査セんガ爲ニ、此行政財政ノ調査會ニ

於テ、如何ナル程度ニ於テ問題ヲ調査セントスルノデアルカト云フコトデアリマス、私ハ過日本議場ニ於テ施政方針中ニ述べマ

シタル目的ヲ以テ、行政財政ノ諸般ノ事項ニ

瓦ツテ問題ヲ審査セんガ爲ニ、此行政財政ノ調査會ヲ設ケントルモノデアリマスケレドモ、其審議スベキ問題ノ範圍程度ト云フ

モノハ、只今マダ限定期ハ居リマセヌ

第二ノ問題ハ、軍事費ヲ更ニ節減スルノ意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、度

度御答致シマシタガ、要スルニ政府ハ軍事費ノ節減スペキ餘地ノアルモノハ、固ヨリ之ヲ節減スルノデアリマス、只今マダ繼續致シテ居リマス軍制調査會ニ於キマシテモ、是モ一つノ目的トシテ調査スルト云フコトヲ申シテ居ラレルノデアリマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 質疑ハ終局致シマシタ、森本君カラ議事進行ニ關シテ發言ヲ

求メラレテ居リマスガ、只今ノ場合ハ重要

ナル議案ノ討議ノ半バデアリマスガ、ドウシタカラ、私ハ此靜肅方其儘繼續スルコトヲ希望致シマシテ私ノ動議ヲ撤回致シマス

○森本一雄君 議長、議場ガ靜肅デアリマスカトニ付テ發言ヲ求メラレルノデアリマスカ

云フコトニ付テ發言ヲ求メラレルノデアリマス、其次ハ減税ニ對スル所ノ恒久的

財源ガナイト云フコトデアルヤウデアリマス、隨テ私ハ先づ此二點ニ付キマシテ、政友會ノ御議論ノ誤シテ居ル點ヲ指摘致シタ

○議長(藤澤幾之輔君) 撤回ノ動議ハ先決問題デアリマスガ、便宜上七案ノ討議ト併セ討論ニ付シ、採決ハ先キニ之ヲ致シマス、左様御了承ヲ願ヒマス、是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス、前田房之助君

〔前田房之助君登壇〕

○前田房之助君 諸君、私ハ只今議題ニナフテ居リマスル地租法案外六件ニ對シマシテ、政友會提出ノ撤回動議ニ反対ヲ致シマシテ、委員長ノ報告ニ賛成ヲ致スモノデアリマス(拍手)各法案ノ内容ニ付キマシテハ、何レ吾々同僚ヨリ後デ詳細意見ヲ申述ブルコト、察シマスルガ故ニ、私ハ各法案ニ對シマシテ、總括的ノ意見ヲ申述ベテ見タイト思フノデアリマス

先刻岡田君ノ御話ヲ承リマスルト、撤回論ノ主ナル所ノ根本ノ理由ハ、減税ニ對スル恒久的財源ガナイト云フコトデアルノデアリマス、隨テ私ハ此點ニ付キマシテ先ヅノ如ク、倫敦海軍條約ノ目的ハ、申スマデモナク外ハ各國ノ製艦競争ヨリ起リマスル危険ヲ防止致シマシテ、進シテ世界ノ平和ニ貢獻スルコトデアリマス、又内ニ於キマシテハ國民ノ負擔ヲ輕減シ、民力ノ涵養ヲ致スコトデアルノデアリマス、此崇高ナル目的ヲ有シテ居リマスル倫敦海軍條約ニ對シマシテハ、恐クハ全國民何人モ反対スルリマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 静肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 諸君、次ニ私ハ減税ニ對シマスル財源ノ問題ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、過日委員會ニ於キマシテ、大口君ガ返付ノ理由トシテ申サレマシタノニ

ハ、第一ハ減税ニ對スル恒久財源ガナイ、ノミナラズ一步進ンデ、其基礎ヲナシテ居ニテ、テ海軍補充計畫費ガ九年、十年、十一年ト段々減テ居ル、即チ歲出臨時部ガ昭和九年、十年、十一年ト段々減テ居ル、然ルニ一方減ヲシテ居ル、即チ歲出臨時部ガ昭和九年、十年ト段々增加致シテ居ルカラ、保留財源五億八百萬圓ハ極メテ不確實デアルト云フ御

更ニ私ハ大口君ガ歲出ノ臨時部ガ年々漸減ヲシテ居ル、即チ歲出臨時部ガ昭和九年、十年ト段々增加致シテ居ルカラ、保留財源五億八百萬圓ハ極メテ不確實デアルト云フ御

論デアリマスガ、私ハ遺憾ナガラ此點ニ付キマシテハ見解ノ相違デハアリマセウガ、大口君トハ全然根本カラ異ナル意見ヲ有シテ居ルモノデアリマス、何トナレバ昭和六年ニ持ヘタ此概計表ナルモノハ、歲入ノ最

モ激減シテ居リマスル昭和五年ヲ基礎ト致シテ居ルモノデアリマス、而シテ御承知ノ印紙收入、關稅收入ヲ加ヘマスト、約一千三百萬圓減退シテ居リマス、其他ニ

五千萬圓ノ歲入減デアリマス、併ナガラ私共ハ斯様ニ一億五千万圓ト云フ巨額ノ歲入減ガ、昭和九年、十年、十一年マデ永續ス

居ルコト、信ジマス(拍手)唯政友會ノ諸君

ガ倫敦海軍條約ニ反対サレテ居リマスル點ハ、條約上ノ兵力力量ヲ以テ致シテハ、國防

ノ安固ヲ期シ難トイト認メテ居ラレルヤウデアリマス、其次ハ減税ニ對スル所ノ恒久的

財源ガナイト云フコトデアルヤウデアリマス、隨テ私ハ先づ此二點ニ付キマシテ、纏年ニ於キマシテハ即チ一億九千百万圓ニ減退致シテ居ル、又臨時部ニ於キマシテニ二億六千八百万圓ノモノガ、昭和十五年ニ於テ

イト思フノデアリマス(拍手)

諸君モ既ニ御承知ノ通リニ、今回ノ海軍補充計畫ハ、海軍首腦部ト申シマスレバ、申スマデモナク海軍大臣、海軍軍令部長竝ニ軍事參議官ヲ指スノデアリマシテ、是等帝國海軍ノ國防用兵上ニ付テ全責任ヲ帶ビテ居ル御方ガ認メテ以テ、國防上不安ナント云フ意見ニ一致致シテ以上ハ、吾々ハ此事ニ信賴致スヨリ外ナインデアリマス(拍手)若シ尙且ツ反対ヲ致サレマスルナラバ、徒ニ反対センガ爲ニ反対スルモノデアルト云フ國民ノ誤解ニ對シテ、恐クハ辯解ノ辭ハアルマイト思フノデアリマス(拍手)

〔發言スル者多シ〕

○議長(藤澤幾之輔君) 静肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 諸君、次ニ私ハ減税ニ對シマスル財源ノ問題ニ付テ申上ゲタイ

ト思ヒマス、過日委員會ニ於キマシテ、大口君ガ返付ノ理由トシテ申サレマシタノニ

ハ、第一ハ減税ニ對スル恒久財源ガナイ、ノミナラズ一步進ンデ、其基礎ヲナシテ居ニテ、テ海軍補充計畫費ガ九年、十年、十一年ト段々減テ居ル、即チ歲出臨時部ガ昭和六年ニ持ヘタ此概計表ナルモノハ、歲入ノ最

モ激減シテ居リマスル昭和五年ヲ基礎ト致シテ居ルモノデアリマス、而シテ御承知ノ印紙收入、關稅收入ヲ加ヘマスト、約一千三百萬圓減退シテ居リマス、其他ニ

シテ居リマス軍制調査會ニ於キマシテモ、頗ル不確實デアルト云フ御意見デ

アッタノデアリマス、隨テ私ハ此大口君ノ御説ノ誤シテ居ル所以ヲ申述ベテ見タイト

成程大口君ノ仰シヤラレマシタ通り、昭和六年以降歲入歲出豫算概計表ハ、歲入ノ最

モ激減致シテ居リマスル昭和五年ヲ基礎ス

ルモノトハ、斷ジテ認メテ居ラヌノデアリ
 マス(拍手)其理由ヲ私ハ少シク詳細ニ申上
 ゲテ見タイト思フノデアリマス、即チ私共
 ハ昨年ノ下半期以來ノ物價安定ノ状態、並
 ニ貿易ノ状態、國際貨借ノ改善ノ模様、茲
 ニ正貨ノ模様ヨリ見マシテ、昨年ノ貿易ノ
 一箇年間ノ入超ハ僅ニ一億六千万圓デアリ
 マシテ、一昨年ニ比較致シマシテ九百万圓
 減少ヲ致シテ居ルノデアリマス、ノミナラ
 ブ貿易外ノ收支勘定ヲ見マスト、是ハ推定
 額デハアリマスルガ、受取勘定ガ一億七千
 万圓多イノデアリマスルガ故ニ、昨年ノ國
 際收支ハ殆ド平衡ヲ得テ居ルノデアリマ
 ス、斯様ナ結果正貨ノ流出ハ、最初吾々ガ
 心配ヲ致シテ居ツタ程ニハ、流出致シテ居リ
 マセヌ、差引二億四千七百万圓ノ正貨ハ流
 出致シテ居リマスケレドモ、其中、外貨債
 券ノ投資ガ一億圓、他ニ昭和六年度ノ輸入
 爲替ニ使ヒマスル金ガ六千万圓アリマスル
 ガ故ニ、昨年度ニ於テ我が國家ノ本當ノ損
 失トシテ計上致シマシタ所ノ、正貨ノ純流
 出額ハ僅ニ八千七十八万圓ニシカ過ギナイン
 デアリマス、ノミナラズ、本年ノ一月二月ノ
 貿易ノ状態ヲ見マスト、諸君ガ御承知ノ如
 カ、僅ニ七十五万圓ノ入超ニ過ギマセヌデ、
 一昨年ト比較ヲ致シマスト、實ニ七千八
 十万六千圓ノ入超減デアルノデアリマス
 (拍手)斯様ナ事ハ恐クハ歐洲大戦争以來、
 會テ無イ所ノ順調デアラウト思ヒマス、尤
 モ金額ハ減ツテハ居リマス、商品ノ値下ニ依
 リマンテ金額ハ減ツテ居リマスケレドモ、數量
 ハ少シモ減ツテ居ラヌノデアリマス、即チ
 生絲ニ付テ見マスルニ、生絲ハ金額ニ於キ
 マシテハ二割減デアリマスケレドモ、數量
 ニ於キマシテハ三割三分四厘ノ増加デアリ
 マス

(發言スル者アリ)

○前田房之助君(續) 又棉花ニ於キマシテ
 ハ、紡績ノ各番手ノ採算點ヲ御計リニナッテ
 居リマス關係上、數量ハ昨年ヨリ是亦多イ
 ノデアリマス、斯ノ如ク數量ノ上カラ申シ
 マシテモ少シモ減退ヲ致シテ居リマセヌ、併シ
 即チ物價ノ安定ノ状態、國際貨借ノ現狀茲
 ニ正貨流出ノ度合カラ考ヘマスルト、世界
 的ノ不況が今俄ニ回復ヲ致シマセヌ以上、
 我ガ日本ノ國ノ財界ガ直ニ好轉スルモノ
 ハ私ハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、併ナ
 ガラ我國ノ財界ガ今ヤ歩調ヲ固メツ、アル
 ト云フ事ダケハ、確カナ事實デアラウト思
 フノデアリマス(拍手)學理上ノ意見ハ別ト
 致シマシテ、景氣ハ循環ヲ致シテ居ルモノ
 デアリマス、既ニ我ガ財界ガ地圖メヲ致シ
 ト居リマスル以上ハ、昭和九年、十年、十
 一年マデ、今日ノ如ク約一億五千万圓ノ歲
 入減ガアルト云フ事ハ、常識上判斷スルコ
 トガ出來ナインデアリマス(拍手)ノミナラ
 ズ、段々是カラ恐ラクハ歲入減ガ殖エマス
 ルカラ、概計表ニ於キマスル所ノ歲入過
 所謂剩餘金ニ相當スル金ガ、恐ラクハ昭和
 九年、十年、十一年ニハ、概計表ヨリモ餘
 程增加致スデアラウト秋ハ信ジマスルガ故
 ニ、保留財源五億八百万圓ハ、寧ロ前途頗
 少ナルモノアリト斷定シテ憚ラヌト私
 ハ思ヒマス(拍手)

斯ク論斷致シマスル時ニ於キマシテ、保
 留財源五億八百万圓ノ財源ニ付キマシテハ、
 政友會ノ諸君ハ餘り御心配ナサル必要ハナ
 イノデアリマス、然ラバ其他ノ財源ハ如何
 デアルカ、即チ海軍ニ對スル財源、又減稅
 デアツテ、方ニ實際ニ於テ是ガ要ルト假定致
 ト思ヒマスガ故ニ、不足額ハ僅ニ百万圓内
 求スル事ニ相成テ居ルノデアリマス、隨テ
 外デアルノデアリマス、斯様ナ僅ナ金デア
 リマス以上ハ、財政技術ノ配慮ニ依テ、當
 然處理ナレルモノデアツテ、頭頭減稅ノ恆久
 財源ニハ影響ヲ及ボサヌノデアリマス(拍
 手) 更ニ政友會ノ諸君ガ心配ナサレマシタノ
 ハ、昭和十年、十一年ニ於テ航空能力維持
 ノ爲ニ約九百万圓程ノ金ガ要ルト云フコト
 ノデアリマシタガ、是ハ目下ハ抽象的ノ議論
 デアツテ、方ニ實際ニ於テ是ガ要ルト假定致
 ト思フノデアリマス、決シテ減稅
 ノ財源ニハ影響ヲ及ボサヌノデアリマス
 ハヤハリ財政技術ニ依テ然ルベク按配ガ
 德アツテ、方ニ實際ニ於テ是ガ要ルト假定致
 ト思フノデアリマス、決シテ減稅
 ノ財源ニハ影響ヲ及ボサヌノデアリマス
 ハヤハリ財政技術ニ依テ然ルベク按配ガ
 出來ヤウト思フノデアリマス、決シテ減稅
 ノ財源ニハ影響ヲ及ボサヌノデアリマス
 次ニ政友會諸君ノ最モ御心配ニ相成ツテ
 居リマスノハ、第二次補充計畫ニ對スル費
 用ナルモノノ巨額ニ達シテ居ルト云フコトデアリ
 ラスガ、私ハ其眞偽ハ知リマセヌ、併ナガラ
 第二次補充計畫ナルモノハ各國ノ情勢、即
 チ英米兩國ノ艦船製造ノ計畫ガ決定ヲ致シ
 タ上ニ於テ、我ガ日本ガ決定スペキモノデ
 アルト云フコトハ、政府當局ノ屢言明ヲ
 敷シテ居ル所デアルノデアリマス(拍手)即
 チ軍備ノ相對性ニ考ヘマシテモ、英米兩國
 ガ全部ノ權利ヲ行使セザルニ、我ガ日本帝
 國ノミガ全部ノ權利ヲ行使スル必要ガ何處
 ニ在ルノデアリマスカ、英米兩國ガ全部ノ
 權利ヲ行使スルナラバ、日本モソレニ順應
 致シ、又權利ヲ行使シナインラバ、日本モ
 廢メレバ宜イノデアリマシテ、今日ノ場合
 ニキマシテハ、第二次補充計畫ナルモノ
 ハ、全然不明ノ事實ト申サナケレバナリマ
 セ、吾々ハ過去ノ事實ニ徴シマスルニ、
 昭和四年田中政友内閣ノ當時、兩稅委讓ヲ
 提案サレマシテ、當時國庫ニ八千万圓ノ收
 入ガ缺ケタノデアリマス、當時將來ノ新艦
 艇建造ニ對シマスル所ノ保留財源ハ、一體
 ナンボアツタノデアリマスカ、當時ノ保留財
 源ハ僅ニ六千五百万圓ニ過ギナカッタデハ
 アリマセヌカ、而モ當時ハ華盛頓會議ノ結
 果ト致シマシテ、毎年一箇年ニ主力艦一隻
 ノ建造成シナケレバナラスト云フコトニナッ
 テ居リマシタ、即チは昭和六年カラデア
 リマスカラ、主力艦一隻ノ建造ハ最低ニ見
 積リマシテモ八千万圓ヲ要スルノデアリマ
 ケレドモ、此種ノ艦艇ノ艦齡ノ平均致シ
 マスト十六年ニ相成リマスガ故ニ、補助艦
 艇ハ一箇年ニ平均二万五千噸ヲ建造シナケ
 レバナラスト云フコトニ相成ツテ居ツタノデ
 アリマス、サウ致シマシテ補助艦船ハ昭和

用デアルノデアリマス、政友會ノ諸君ハ第
 二次補充計畫ハ、昭和十一年度前ニ必ズ實
 行シナケレバナラヌ、而モソレハ一億五千
 千四百萬圓ノ中ニハ、新艦船維持費ハ毛
 頭含シテ居リマセヌ、唯艦船維持費ハ毛
 費ハ少シモ減退ヲ致シテ居ルト云フコトデアリ
 ラスガ、私ハ其眞偽ハ知リマセヌ、併ナガラ
 第二次補充計畫ナルモノハ各國ノ情勢、即
 チ英米兩國ノ艦船製造ノ計畫ガ決定ヲ致シ
 タ上ニ於テ、我ガ日本ガ決定スペキモノデ
 アルト云フコトハ、政府當局ノ屢言明ヲ
 敷シテ居ル所デアルノデアリマス(拍手)即
 チ軍備ノ相對性ニ考ヘマシテモ、英米兩國
 ガ全部ノ權利ヲ行使セザルニ、我ガ日本帝
 國ノミガ全部ノ權利ヲ行使スル必要ガ何處
 ニ在ルノデアリマスカ、英米兩國ガ全部ノ
 權利ヲ行使スルナラバ、日本モソレニ順應
 致シ、又權利ヲ行使シナインラバ、日本モ
 廢メレバ宜イノデアリマシテ、今日ノ場合
 ニキマシテハ、第二次補充計畫ナルモノ
 ハ、全然不明ノ事實ト申サナケレバナリマ
 セ、吾々ハ過去ノ事實ニ徴シマスルニ、
 昭和四年田中政友内閣ノ當時、兩稅委讓ヲ
 提案サレマシテ、當時國庫ニ八千万圓ノ收
 入ガ缺ケタノデアリマス、當時將來ノ新艦
 艇建造ニ對シマスル所ノ保留財源ハ、一體
 ナンボアツタノデアリマスカ、當時ノ保留財
 源ハ、全然不明ノ事實ト申サナケレバナリマ
 セ、吾々ハ過去ノ事實ニ徴シマスルニ、
 昭和四年田中政友内閣ノ當時、兩稅委讓ヲ
 提案サレマシテ、當時國庫ニ八千万圓ノ收
 入ガ缺ケタノデアリマス、當時將來ノ新艦
 艇建造ニ對シマスル所ノ保留財源ハ、一體
 ナンボアツタノデアリマスカ、當時ノ保留財
 源ハ僅ニ六千五百万圓ニ過ギナカッタデハ
 アリマセヌカ、而モ當時ハ華盛頓會議ノ結
 果ト致シマシテ、毎年一箇年ニ主力艦一隻
 ノ建造成シナケレバナラスト云フコトニナッ
 テ居リマシタ、即チは昭和六年カラデア
 リマスカラ、主力艦一隻ノ建造ハ最低ニ見
 積リマシテモ八千万圓ヲ要スルノデアリマ
 ケレドモ、此種ノ艦艇ノ艦齡ノ平均致シ
 マスト十六年ニ相成リマスガ故ニ、補助艦
 艇ハ一箇年ニ平均二万五千噸ヲ建造シナケ
 レバナラスト云フコトニ相成ツテ居ツタノデ
 アリマス、サウ致シマシテ補助艦船ハ昭和

ル如ク消費税ニ付イテ無關心デハアリマセヌ、全體ノ根本整理ヲヤルトキニ於キマシテハ、此點ニ付テハ爲政家トシテ相當ニ御考慮ヲ願ヒタトイ思フノデアリマス。其他私ハ内容ニ付テ幾多申上ゲタイコトガアリマスルケレドモ、是等ニ付キマシテハ後トヨリノ同僚諸君ニ御譲リラ申スコト致シマシテ、此際ハ避ケマスルガ、要スルニ今回ノ改正案ト云フモノハ、第一地租ノ課稅標準ヲ貨貸價格ニ變ヘマシテ、數十年ニ瓦リマスル所ノ不公正ノ地價ヲ是正致シタ、ソレガ第一ノ目的ニアリマス、更ニ總テヲ通ジマシテ社會政策の方針ガ加味サ税ニ致シマシテモ、中流以下ノ國民ノ使用レテ居ルノデアリマス、營業収益稅ニ致シマシテモ、千圓以下ノ納稅者ニ對シテ、特ニ二割ヲ輕減ヲ致シテ居ル、其他織物消費稅ニ致シマシテモ、中流以下ノ國民ノ使用又砂糖ニ致シテモ、其他日常生活ニ必要ナル商品ニ對シテモ、多ク減稅ヲ致シテ居ル、是等ノ點カラ考ヘマシテモ、社會政策方針ガ強ク流レテ居ルノデアリマシテ、現在ノ國民生活ノ實際カラ見マスト、極メテ有效ナル所ノ改正方法デアブクト思フノデアリマス、私ハ此際最後ニ一言公債ト減稅ニ關シマスル關係ニ付キマシテ、意見ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、先刻政友會ノ諸君ハ現内閣ハ一方ニ平年度ニ於テ、二千五百万圓ノ減稅ヲ行フガ、一方ニハ民政黨多年ノ主張ニ反スルト論難サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ今モ大藏大臣ガ申サレマシタ如ク、今回ノ道路公債ヲ財源トシテ減稅ヲ致シテ居ルモノデアル、是不景氣ガ深刻ニナリマシテ、失業者ガ簇出致シタ、其失業者ヲ救濟致シマスル一時的便法ト致シマシテ、一年ヲ限テ發行ヲ致シタノデアブテ、決シテ永續致シテ居ルモノデ

ハアリマセヌ、隨テ恆久財源デアリマスル減稅ノ財源トハ決シテ相成ラヌノデアリマス、所ガ又一般會計ニ於テ二千二百万圓、鐵道特別會計ニ於テ一千一百萬圓、權太特別會計ニ於テ百五十萬圓、合計三千五百五十萬圓モ公債ヲ發行政致シテ居ルコトハ、政策ノ破綻デアルノミナラズ、現内閣成立當時ト、本年一月ノ公債總額ヲ考ヘテ見ルト、八千万圓モ殖エテ居ルト云フコトハ、正ニ之ヲ裏書致シテ居ルモノト諸君ハ非難サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ公債ノ内容ヲ考ヘマスルト、是ハ間違タ御議論デアリマス、成程總額ハ殖エテ居リマスケレドモ、諸君ノ御承知ノ如ク、法律ニ依リマスル所ノ交付公債ガ四千三百万圓、更ニ借換差額ニ依リマスルモノガ四千五萬圓、合計八千八百万圓ハ政府ノ責任ニアラザル増額デアリマスルガ故ニ、差引致シマスト八百万圓減少致シテ居ル勘定ニナッテ居ルノデアリマス、諸君ハヤカマシク仰シヤイマスガ、甲申内閣時代、政友會内閣ノ時代ニ於キマシテ、昭和四年度ノ財政計畫ヲ考ヘマスルト、當時昭和五年カラ昭和十五年ニ至ル間ニ於キマシテ、一般會計ニ於テハ五億五千六百万圓、特別會計ニ於テハ六億七千五百四十萬圓、合計十二億七千四百万圓ト云フ實ニ莫大ノ公債ヲ發行シナケレバナラバ、別段大ナル努力モ大ナル苦心モ要シラヌト云フ方針ヲ立テラレタノデアリマス、若シ吾々ガ今日斯様ナ公債ヲ財源ト致シテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナシテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソナインデアリマス、併ナガラ若シ斯様ナ公債ヲ財源ト致シマシテ、財政計畫ヲ立テマスナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソレガ爲ニ財政ノ大膨脹ヲ致スデアリマセウ、ソレガ爲ニ國民ニ對シテ大増稅ノ素因モ出來ルノデアリマス、又將來國民ニ對シテハ非常ニ公債ヲ濫發致シマシテ、財政ガ悪化致シ、遂ニ財政ノ行詰リニ遭ヒマシテ、

ハアリマセヌ、隨テ恆久財源デアリマスル減稅ノ財源トハ決シテ相成ラヌノデアリマス、所ガ又一般會計ニ於テ二千二百万圓、鐵道特別會計ニ於テ一千一百萬圓、權太特別會計ニ於テ百五十萬圓、合計三千五百五十萬圓モ公債ヲ發行政致シテ居ルコトハ、政策ノ破綻デアルノミナラズ、現内閣成立當時ト、本年一月ノ公債總額ヲ考ヘテ見ルト、八千万圓モ殖エテ居ルト云フコトハ、正ニ之ヲ裏書致シテ居ルモノト諸君ハ非難サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ公債ノ内容ヲ考ヘマスルト、是ハ間違タ御議論デアリマス、成程總額ハ殖エテ居リマスケレドモ、諸君ノ御承知ノ如シテ居ルノデアリマス、併ナガラ公債ノ内容ヲ考ヘマスルト、是ハ間違タ御議論デアリマス、成程總額ハ殖エテ居リマスケレドモ、諸君ノ御承知ノ如ク、法律ニ依リマスル所ノ交付公債ガ四千三百万圓、更ニ借換差額ニ依リマスルモノガ四千五萬圓、合計八千八百万圓ハ政府ノ責任ニアラザル増額デアリマスルガ故ニ、差引致シマスト八百万圓減少致シテ居ル勘定ニナッテ居ルノデアリマス、諸君ハヤカマシク仰シヤイマスガ、甲申内閣時代、政友會内閣ノ時代ニ於キマシテ、昭和四年度ノ財政計畫ヲ考ヘマスルト、當時昭和五年カラ昭和十五年ニ至ル間ニ於キマシテ、一般會計ニ於テハ五億五千六百万圓、特別會計ニ於テハ六億七千五百四十萬圓、合計十二億七千四百万圓ト云フ實ニ莫大ノ公債ヲ發行シナケレバナラバ、別段大ナル努力モ大ナル苦心モ要シラヌト云フ方針ヲ立テラレタノデアリマス、若シ吾々ガ今日斯様ナ公債ヲ財源ト致シテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナシテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソナインデアリマス、併ナガラ若シ斯様ナ公債ヲ財源ト致シマシテ、財政計畫ヲ立テマスナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソレガ爲ニ財政ノ大膨脹ヲ致スデアリマセウ、ソレガ爲ニ國民ニ對シテ大増稅ノ素因モ出來ルノデアリマス、又將來國民ニ對シテハ非常ニ公債ヲ濫發致シマシテ、財政ガ悪化致シ、遂ニ財政ノ行詰リニ遭ヒマシテ、

ハアリマセヌ、隨テ恆久財源デアリマスル減稅ノ財源トハ決シテ相成ラヌノデアリマス、所ガ又一般會計ニ於テ二千二百万圓、鐵道特別會計ニ於テ一千一百萬圓、權太特別會計ニ於テ百五十萬圓、合計三千五百五十萬圓モ公債ヲ發行政致シテ居ルコトハ、政策ノ破綻デアルノミナラズ、現内閣成立當時ト、本年一月ノ公債總額ヲ考ヘテ見ルト、八千万圓モ殖エテ居ルト云フコトハ、正ニ之ヲ裏書致シテ居ルモノト諸君ハ非難サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ公債ノ内容ヲ考ヘマスルト、是ハ間違タ御議論デアリマス、成程總額ハ殖エテ居リマスケレドモ、諸君ノ御承知ノ如シテ居ルノデアリマス、併ナガラ公債ノ内容ヲ考ヘマスルト、是ハ間違タ御議論デアリマス、成程總額ハ殖エテ居リマスケレドモ、諸君ノ御承知ノ如ク、法律ニ依リマスル所ノ交付公債ガ四千三百万圓、更ニ借換差額ニ依リマスルモノガ四千五萬圓、合計八千八百万圓ハ政府ノ責任ニアラザル増額デアリマスルガ故ニ、差引致シマスト八百万圓減少致シテ居ル勘定ニナッテ居ルノデアリマス、諸君ハヤカマシク仰シヤイマスガ、甲申内閣時代、政友會内閣ノ時代ニ於キマシテ、昭和四年度ノ財政計畫ヲ考ヘマスルト、當時昭和五年カラ昭和十五年ニ至ル間ニ於キマシテ、一般會計ニ於テハ五億五千六百万圓、特別會計ニ於テハ六億七千五百四十萬圓、合計十二億七千四百万圓ト云フ實ニ莫大ノ公債ヲ發行シナケレバナラバ、別段大ナル努力モ大ナル苦心モ要シラヌト云フ方針ヲ立テラレタノデアリマス、若シ吾々ガ今日斯様ナ公債ヲ財源ト致シテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナシテ、豫算ヲ編成シテモ宜イト云フコトナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソナインデアリマス、併ナガラ若シ斯様ナ公債ヲ財源ト致シマシテ、財政計畫ヲ立テマスナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、ソレガ爲ニ財政ノ大膨脹ヲ致スデアリマセウ、ソレガ爲ニ國民ニ對シテ大増稅ノ素因モ出來ルノデアリマス、又將來國民ニ對シテハ非常ニ公債ヲ濫發致シマシテ、財政ガ悪化致シ、遂ニ財政ノ行詰リニ遭ヒマシテ、

産業合理局ノ調査ニ依リマスト云フト、國内ノ國民ガ國產品ヲ愛用致シマスルナラバ、二億五千万圓ニ相當スル代用品ダケハ製造ノ可能性ガアルト云フコトデアリマス、併サガラソレ以外ノ物ハ、今日マデ民間ノ事業家ガ幾度カ試ミタノデアリマスケレドモ、收支ガ合ハナイカラ、此儘ニ棄テ、居ルノデアリマス、今日若シ此産業ヲ助成致シマスルナラバ、國家ハ莫大ナ助成ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、國家ガ助成スルコトガ出來ナケレバ、高度ノ保護關稅ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日ノ財界ニ於キマシテ公債ヲ發行政策ニマデ、其莫大ナ助成金ヲ拵ヘテ見タリ、高度ノ保護關稅ヲ課スルト云フコトハ、恰モ地盤ノ後デ基礎工事ヲ施サズシテ、其上アリマス(拍手)隨テ遺憾ナガラ私共ハ此政

策ニハ御賛成カ出來ナイノデアリマス

更ニ政友會ノ岡田君ガ此處ニ申セラマシ

タガ、行政財政ノ根本整理ヲ致シテ、サウ

シテ軍備ノ經濟化ヲ行フテ、五千万圓ノ減稅

ヲ行フト先刻仰シヤリマシタガ、是亦私共

モ變手ヲ擧ガテ賛成スル者デアリマス、相

互ニ政黨ハ努力致シテ、此方針デ進マナケ

レバナラナイ、即チ公債ノ整理低減ヲ行ハ

サケレバナラナイ、之ヲヤラナケレバ、行

政財政ノ根本的整理ガ出來ナイノデアリマ

シテ、即チ是ハ政友會ノ積極政策ト、全ク

柄鑿相容レナイン所ノ議論デアラウト思フノ

デアリマス(拍手)ノミナラズ政友會ノ諸君

ガ、軍備ノ經濟化ヲ行フト稱セラレマシタ、吾々國民ハ又軍備ノ經濟化ニ努力スルノ必

要アルハ勿論デアリマス、併サガラ諸君ガ、

海軍首腦部ガ一致致シテ、今回ノ海軍補充

計畫ヲ以テ、國防上安全デアルト看做シテ居ルニ拘ラズ、尙且國防上不安ナリト稱セラレマンテ、軍備ノ擴充ヲ努メルガ如キ、此態度ヲ執テ居ラレマスル限りニ於キマシテハ、軍備ノ經濟化ハ決シテ實現スルモノデハナイノデアリマス(拍手)私ハ敢テ政友會諸君ガ軍國主義者デアルトハ申シマセスルコトガ出來ナケレバ、高度ノ保護關稅ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日ノ財界ニ於キマシテ公債ヲ發行政策ニマデ、其莫大ナ助成金ヲ拵ヘテ見タリ、高度ノ保護關稅ヲ課スルト云フコトハ、恰モ地盤ノ後デ基礎工事ヲ施サズシテ、其上アリマス(拍手)隨テ遺憾ナガラ私共ハ此政

策ニハ御賛成カ出來ナイノデアリマス

更ニ政友會ノ岡田君ガ此處ニ申セラマシ

タガ、行政財政ノ根本整理ヲ致シテ、サウ

シテ軍備ノ經濟化ヲ行フテ、五千万圓ノ減稅

ヲ行フト先刻仰シヤリマシタガ、是亦私共

モ變手ヲ擧ガテ賛成スル者デアリマス、相

互ニ政黨ハ努力致シテ、此方針デ進マナケ

レバナラナイ、即チ公債ノ整理低減ヲ行ハ

サケレバナラナイ、之ヲヤラナケレバ、行

政財政ノ根本的整理ガ出來ナイノデアリマ

シテ、即チ是ハ政友會ノ積極政策ト、全ク

柄鑿相容レナイン所ノ議論デアラウト思フノ

デアリマス(拍手)ノミナラズ政友會ノ諸君

ガ、軍備ノ經濟化ヲ行フト稱セラレマシタ、吾々國民ハ又軍備ノ經濟化ニ努力スルノ必

要アルハ勿論デアリマス、併サガラ諸君ガ、

海軍首腦部ガ一致致シテ、今回ノ海軍補充

○議長(慈澤幾之輔君) 先刻申述ベマシタ 濱口總理大臣ノ登院時期ノ開会ニ對シマシタ、本減稅案ニ御賛成下サランコトヲ希ウテ止マザル次第デアリマス(拍手)

策ヲ唱ヘルニ於キマシテハ、先づ魄ヨリ始メヨ、低物價政策ヲ唱ヘテ、當業者ニ壓迫ヲ加ヘルヨリモ、自分ノ統制下ニ在ル專賣局ノ煙草ノ値段ヲ下ゲタリ、或ハ鐵道ノ運賃ヲ下ゲタリ、減稅ヲシタリシテ、サウシテ生産費ノ切下ゲニ資スルコトガ、私ハ親切ナル仕事デハナカラウカト思フノデアリマス、低物價政策ト稱シテ、國民多數ニ對シテハ、物ノ値ヲ安クスルコトヲ宣傳シテ、自ラハ高物價政策ヲ維持シテ居ルガ爲ニ、國民大多數ハ、生産費ノ高價ナルガ爲ニ、茲ニ不況ノ底ニ沈淪シテ居ルト云フ事實ヲ忘メハナラヌノデアリマス（拍手）此金解禁ノ斷行ト、而シテ低物價政策ヲ御唱ヘルニアリマス（拍手）而シテ今回倫敦條約ニ依リマシテ、軍縮會議ノ結果トシテ剩餘金ガ出タルナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ一二論ジテ見タナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ論議ヲ進メテ見タイト思ヒマスルガ、御承知ノ通リニ現内閣が今回御出シニナリマシタ所ノ豫算案ハ、世間ニ於テハ無爲無策ト稱シ、或ハ無情冷酷ノ豫算ト稱シ、或ハ無經綸ノ豫算ト稱セラレテ居ル所ノ、洵ニ見榮ノナイ豫算デアリマスルケレドモ、其乏シキ豫算ノ中

策ヲ唱ヘルニ於キマシテハ、先づ魄ヨリ始メヨ、低物價政策ヲ唱ヘテ、當業者ニ壓迫ヲ加ヘルヨリモ、自分ノ統制下ニ在ル專賣局ノ煙草ノ値段ヲ下ゲタリ、或ハ鐵道ノ運賃ヲ下ゲタリ、減稅ヲシタリシテ、サウシテ生産費ノ切下ゲニ資スルコトガ、私ハ親切ナル仕事デハナカラウカト思フノデアリマス、低物價政策ト稱シテ、國民多數ニ對シテハ、物ノ値ヲ安クスルコトヲ宣傳シテ、自ラハ高物價政策ヲ維持シテ居ルガ爲ニ、國民大多數ハ、生産費ノ高價ナルガ爲ニ、茲ニ不況ノ底ニ沈淪シテ居ルト云フ事實ヲ忘メハナラヌノデアリマス（拍手）此金解禁ノ斷行ト、而シテ低物價政策ヲ御唱ヘルニアリマス（拍手）而シテ今回倫敦條約ニ依リマシテ、軍縮會議ノ結果トシテ剩餘金ガ出タルナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ一二論ジテ見タナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ論議ヲ進メテ見タイト思ヒマスルガ、御承知ノ通リニ現内閣が今回御出シニナリマシタ所ノ豫算案ハ、世間ニ於テハ無爲無策ト稱シ、或ハ無情冷酷ノ豫算ト稱シ、或ハ無經綸ノ豫算ト稱セラレテ居ル所ノ、洵ニ見榮ノナイ豫算デアリマスルケレドモ、其乏シキ豫算ノ中

行五万圓ヲ計上シテ、今回昭和六年度カラ行政財政ノ整理調査會ヲ御設ケニナラウト

アルト私ハ考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ昭和七年度ニ根本的ノ稅制整理

モノデアラウト私共ハ考ヘルノデアリマス（拍手）

兩シテ私共ハ冷靜ニ日本ノ今日ノ國稅ノ體系ヲ考ヘテ見タイ、今日日本ノ國稅ノ體系ト云フモノハ、基本稅、根幹稅ト致シマシテ所得稅、之ニ配スルニ收益稅、即チ地租及ビ營業收益稅、資本利子稅ト云フヤウナモノヲ所得稅ニ配シマシテ、此根幹稅、基本稅ニ對シテ、附帶稅ト申シマスカ、枝葉稅ト申スモノガ行スルモノデアルト云フコトヲ言明サレテ居ル、殊ニ井上大藏大臣ハ、昭和七年度ニ根本的ノ稅制ノ整理ヲ斷行スル場合ニハ、負擔ノ均衡ヲ得ルコトハ勿論デアルガ、同時ニ產業政策、社會政策ヲ加味シテ、渾然リデアルト云フコトヲ一般ニ聲明致シテ居ルノデアリマス。

〔議長退席、副議長著席〕

然ラバ既ニ政府ニシテ、產業政策ト負擔ノ公平ト、而シテ又社會政策ヲ加味シタル大々的根本的ノ統制ノ改正ト云フコトヲ、昭和七年度ニ於テオヤリニナル意思ガオアリニナルノデアリマシタナラバ、今回產業政策ヲ加味せズ、而シテ社會政策ヲ加味せズ、唯負擔ノ輕減ノミヲ目標トシテ御作リニナシタ所ノ地租トカ、營業收益稅、或ハ織物消費稅、或ハ砂糖消費稅、或シマスルナラバ、六割ト云フモノノ方地租ト營業收益稅ノ減デアリ、僅ニ四割ガ消費稅ノ減デアルト云フコトヲ物語テ居ルノデアリマス、殊ニ甚シイノハ、昭和六年度ニ於ケル減稅案ノ内容デハアリマセヌカ、九百万圓ノ小減稅ノ中デキ所ノ織物消費稅竝ニ砂糖消費稅ハ僅ニ一千萬圓、其二千五百万圓ノ中、直接稅ト思ハル、所ノ地租、營業收益稅ハ一千五百萬圓、而シテ國民大衆ニ轉嫁シ負擔サルベリデアルト云フコトヲ一般ニ聲明致シテ居ルノデアリマス。

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ一二論ジテ見タナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ論議ヲ進メテ見タイト思ヒマスルガ、御承知ノ通リニ現内閣が今回御出シニナリマシタ所ノ豫算案ハ、世間ニ於テハ無爲無策ト稱シ、或ハ無情冷酷ノ豫算ト稱シ、或ハ無經綸ノ豫算ト稱セラレテ居ル所ノ、洵ニ見榮ノナイ豫算デアリマスルケレドモ、其乏シキ豫算ノ中

年カラ斷乎トシテ根本的ノ稅制ノ整理ヲ斷行スルモノデアルト云フコトヲ言明サレテ居ル、殊ニ井上大藏大臣ハ、昭和七年度ニ根本的ノ稅制ノ整理ヲ斷行スル場合ニハ、負擔ノ均衡ヲ得ルコトハ勿論デアルガ、同時ニ產業政策、社會政策ヲ加味シテ、渾然リデアルト云フコトヲ一般ニ聲明致シテ居ルノデアリマス。

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ一二論ジテ見タナラバ、民政黨ノ諸君、現内閣ノ諸君ニ於キマシテハ、待チテ居マシクト云フノデ、過去ニ於ケル罪滅シノ爲ニ、多大ノ減稅ヲ此際ヤル好「チヤンス」デアルト私共ハ信じテ居ルノデアル、然ルニ其金額ガ、御承知ノ通リ八億八百万圓ノ中、僅ニ一億三千四百万圓デアル、大部分ノ三億七千四百万圓ト云フモノヲ軍事費ニ取ラレタト致シマシテハ、餘リニ國民ト致シマシテハ、此内閣ト云フモノハ長ク國民ヲ苦メテ置イタケレドモ、救フ時ハ僅カナコトシカ救フテ下サラナイト云フコトヲ申上ゲテモ、御辯解ノ言葉ハナカラウト私ハ思フノデアリマス（拍手）

更ニ私ハ内容ニ付キマシテ論議ヲ進メテ見タイト思ヒマスルガ、御承知ノ通リニ現内閣が今回御出シニナリマシタ所ノ豫算案ハ、世間ニ於テハ無爲無策ト稱シ、或ハ無情冷酷ノ豫算ト稱シ、或ハ無經綸ノ豫算ト稱セラレテ居ル所ノ、洵ニ見榮ノナイ豫算デアリマスルケレドモ、其乏シキ豫算ノ中

アリ、茲ニ不健全ガアルト云フコトヲ、爲政者ハ注意致サナケレバナラスト思フノデアリマス(拍手)然ラバ此點ヲ御考ニナルナラバ、先ツ從來カラ政治家デ税金ヲ減ラサウト云フ時ニハ、民政黨ノ人達ガ言フト同ジヤウニ、金ト云フモノガアリサヘスレバ、必ズ皆消費稅ノ輕減ニ向ケタト云フノハ此理由デアル、而モ……(前内閣ハドウシク)ト呼フ者アリ)御待チナサイ、能ク話シテヤル——而シテ民政黨ノ人達ニ、特ニ御聽キニ入レタイト思フコトガアル、ソレハアナタ方モ日本ノ租稅ノ中デ、六割五分マデガ消費稅ニ背負ハサレテ居ル、成程日本ノ租稅體系ヲ何トカシナケレバナラスト考ヘルデアラウト思フガ、其消費稅ガ六割五分ヲ占メテ居ルト云フコトハ、現内閣ニナッテ、昭和六年度ノ豫算デ初メテ現レタ數字デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス(拍手)大正九年ノ時代ニ於キマシテハ、消費稅ガ租稅ニ對スル割合ト云フモノハ五割五分デアッタ、然ルニ一割植エテ、昭和六年度ノ今日ノ歳元ニ於キマシテハ、實ニ六割五分ヲ占メテ居ルデハナイカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、(發言スル者アリ)御分リニナラナケレバ能ク話シテヤル、即チ日本ノ租稅ト云フモノガ、此内閣ニナッテ來レバ來ル程、段々中產階級以下ノ人ニヨリ大ナルモノヲ負擔セシメル傾向ガアルト云フコトニナッテ來ルノデアル(拍手)即チ社會政策の御考ヲ持タ政治家ハ、剩餘金ガアルナリ、或ハ今度ノ軍縮ノヤウナ金ガアリマスルナラバ、所謂消費稅ノ輕減ニ、其努力ヲ用ヒルト云フコトハ私ハ當然ナコトデアラウト思フ、更ニ又、ナゼモット消費稅ヲ輕減シナケレバナラナイ理由ガソニ存スルカ、申スマデモアリマセヌ、消費稅ノ如ク御唱ヘニナリマスヤウニ、金ノアル人ニハ割定スルト云フコトニハ相當ノ缺陷ガアル、ソコデ消費稅ノ一番ノ缺陷、能ク皆サンガ

上層階級ニハ割合ニ輕クシテ、貧者ニ割合ニ重イ、
ニ重イ、茲ニ消費稅ノ缺點ガアル、而モ消費
稅ト云フモノハ、民衆ノ無智ニ乘ジテ、
動トモスルト其租稅金額ハ多クナリ勝チノ
モノデアル、即チ心アル政治家、殊ニ社會
政策ヲ御考ニナル所ノ政治家デアリマスル
ナラバ、金ガアッテ之ヲ減稅ニ向ケル場合ニ
ハ、先づ消費稅ニ其大部分ヲ向ケルト云フ
ノガ、此不公正ノ傾キノアル——而モ所得
稅其他ニハ累進稅ト云フモノガアルガ、消費
稅ニ付テハ累進稅ト反對ニ、所謂逆進稅
の色彩ヲ多ク含ンデ居ルト云フコトニ著
眼シテ、消費稅ノ輕減ト云フコトニ力ヲ向
ケナケレバナラヌ(拍手)此内閣ガ出來テカ
ラ、常ニ社會政策ヲ實行シテ居ル、今モ前
田君ノ御意見デモ、社會政策ヲ實行スルト
云フコトヲ言ハレタガ、此稅金ヲ減ラス場
合ニ、直接稅ニノミ重クシテ、此消費稅ヲ
輕視シタト云フコトハ、如何ニロニ言フ所
ハ社會政策デアリテモ、其行フ所ガ反社會政
策的デアルト云フコトヲ證明致シテ居ルノ
デアル(拍手)ソコデ只今モ前田君カラモ御
話ガア、タガ、物價三割モ下ッテ來タノダカ
ラ、消費稅ハ下ゲナクテモ宜カラウ、井上
大藏大臣モ私ノ質問ニ對シテ、不景氣ニナ
テ物價ガ下ッテ來タ時ニハ、消費稅ヲ下ゲル
必要ハナイト、斯ウ仰セラレタガ、諸君、
物價ガ下ッテ國民ノ收入ガ減タ時コソ、大
衆ノ負擔トナツテ居ル消費稅ヲ輕減スルヨ
トノ、一番ノ必要ナル時デアルト考ヘル(拍
手)物價ノ下ッタト云フコトハ、同時ニ失業
者ガ殖エテ、產業ガ衰ヘテ、國民多數ノ所
得ガ少クナツテ居ル時デアル、即チ英吉利ノ
「マグドナルド」ガ言フ通りニ、倫敦ノ靴ノ値
段ガ下ッタ時ガ即チ倫敦ノ靴屋ノ職工ガ二
番困リテ居ルト云フコトヲ忘レテハラヌ、
其通リデハアリマセヌカ(拍手)ソレヲ何
ゾヤ日本デハ物價ノ下ッタ時ニハ消費稅ノ
輕減ヲ行ハナクテモ差支ナイト云フ、此

ノ間違タ觀念、是ガ根本ノ現内閣ノ誤、タ所
諸君、消費稅ヲ私ハ論ズルニ方リマシテハ、
委員會ニ於ケル井上サンノ御答辯デアリマ
シタガ、我國ノ財政變理ノ大任ニ御當リニ
テ居ル所ノ井上太藏大臣ガ、專賣制度ニ對
シテノ無理解、國民大衆ノ負擔輕減ニ對シ
テハ、斯ウ云フ案ヲ御出シニナルガ、財政
的ニハ御分リニナシテ居ル方デナイト云フ
事實ヲ私ハ申上ゲテ見タイト思フ、煙草ノ
儲ヶガ多過ギルト云フ議論ガ出タ、詳シイ
コトハ私ハ同僚ノ加藤君ナリ、高橋君ナリ
ニ御譲リ致シマスカラ、能ク皆サンハ御聽
キヲ願ヒタイト思ヒマスガ、一億七千万圓ノ
煙草ノ賣上ノ中デ、一億七千万圓ノ收益ガ
アル、是ハ暴利ヂヤナイカト云フヤウナ點
カラ、煙草ノ値下ヲスルヤウナ御意見ハア
リマセヌカト云フヤウナ議論ガ出マシタ、
其委員會ニ於キマシテ井上太藏大臣ハ、何
ト言ハレタカト云フト、二億七千万圓ノ賣
上ノ中デ、一億七千万圓ノ利益ノアル、此
煙草ノ專賣ト云フヤウナコトハ暴利デセウ、
暴利ダケレドモ、是ガ專賣ノ特長デアッテ、
專賣ダカラ出來得ルノデアルト云フコト
ヲ、確乎トシテ仰セラレタニ至テハ、是ハ
大藏大臣ノ言葉デハナイ、唯國庫收入一點
張リノ下級稅務官吏ノ言葉デアルト私ハ考
ヘル(拍手)

謂ハバ消費稅ノ形ヲ變ヘタモノデアルカラ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、少數ノ資本家ニ利益ヲ望断セシムルコトヲ制止シテ、多數國民ニ利益ヲ均霑セシムルト云フ、公益的ノ效果ヲ忘レテハ私ナラヌト思フ、（拍手）更ニ又專賣制度ト云フモノハ、殊ニ煙草專賣制度ノ如キモノハ、我國ニ於テモ、各國ニ於キマシテモ、是方肯定サレ、許容サレテ居ル理由ハ、消費稅ノ形ヲ持テ居ル關係トシテ、普通ノ消費稅ニ於キマシテハ、立法者ガ考ヘルヤウニ轉嫁ガムヅカシイモノダカラ、本當ノ擔稅者ハ何處ダカ分ラナイ、消費稅デハ分ラナイケレドモ、專賣制デ以テ、政府ガ直接ニ物ヲ賣付ケル場合ニ於テハ、即チドウ云フ加減デモ出來ルカラシテ、所謂給付能力ニ應ジ、應能課稅ニ應ズル所ノ原則ヲ此處ニ加味スルコトガ出來ルト云フコトガ、是レ專賣制度ノ許容サレ、肯定サレル重大ナル理由デアルト思フ、モウ一つノ理由ハ、申スマデモナク消費稅デハ、累進稅ト云フモノヲ設ケルコトガ出来ナリ、併シ專賣ナラバ、煙草ナラ煙草ヲ賣ル場合ニ、賣ル所ノ品物ヲ區別ヲシテ、サウシテウント高級ノ物ハ高クシテ、サウシテ下ノ物ハ安クスルト云フコトニ依テ、消費稅ニ免レ難キ缺點デアル所ノ、逆進稅の色彩ヲ幾分デモ弱メルト云フ所ニ、煙草專賣ノ妙用ガアルト私ハ考ヘル（拍手）是等ノ專賣制度ニハ、即チ國庫收入上ノ主義モ必要デアラウガ、更ニ社會政策的ノ考モアラウ、更ニ應能課稅ノ原則モ必要デアル、更ニ又累進稅的ノ必要モアラウ、更ニ公益的法則ヲ適用スルノ必要アルト云フコトヲ忘レテ、唯二億七千万圓ノ中一億七千万圓儲カル、暴利ダラウガ、國庫ノ收入ヲ舉ゲサヘスレバソレデ宜イノダト云フヤウナ、私ヲシテ言ハシムルナラバ、一つノ徵稅官廳デアル所ノ專賣局ヲシテ、大トラストノ光景タラシムルコトハ、斷ジテ私ハ

專賣制度ノ效果ハナイト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、井上サンニ能ク御注意申上ゲテ置ク、西洋ノ言葉ニモアル通り、最良ノ財政家ハ必ず最良ノ政治家デナクチヤナラヌ、況シテヤ世間批判スルガ如クニ、最悪ノ財政家ノ時ニ於テハ、最悪ノ政治家ナラザルベカラズト私ハ考ヘル（拍手）

諸君、只今申上ゲマシタヤウニ、本減税率ノ内容ニ付キマシテハ、政府ガ企圖計畫ヲ致シマシタ如キ、所謂負擔ノ公正、均衡ヲ圖ルト云フ其目的モ、達成セシムルコトガ極メテ困難デアル、ソレバカリデハナイ、財源ノ問題ヲ更ニ考ヘテ見ルト、茲ニ本案ノ致命的ノ傷ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）而シテ諸君、諸君ハ財源ノ検討考究ト云フコトヲ敢テ致シマセヌ、減税率ノ美名ニ醉フト云フコトハ、ソレコソ禍ヲ後世ニ賠シ、財政上是ヨリ危険甚シキハナシト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）減税率ト云フモノガ、オ五ノ間ニ認メラレル所以ノモノハ、ソレガ財政上、財政政策上、財政計畫上、即チ恒久ノ財源ガアルカ、或ハ確實ナル財源ガアルカト云フコトニ依テ、其減税率ガ良イカ悪イカト云フコトガ私共ニハ分ルノデアル（拍手）然ルニ唯減税率々々ト言フテ、減税率ノ美名ニ醉フテ、財源ノ検討ヲ缺クト云フガ如キハ、洵ニ危險千萬ナ話デアルト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）此意味合デ、私ハ前田君カラ御話ガアリマシタケレドモ、暫ク財源ノ問題ニ付建艦保留財源ノ中デ、三億七千四百万圓ヲ海軍補充計畫ニ充テ、殘ノ一億三千四百萬圓ト云フモノヲ以テ、國民負擔ノ減税率ヲジ、ヨウト云フコトデアリマス、此元金デアル所ノ五億八百万圓ト云フモノガ、財政計畫上全クモウソレグケノモノハナイ、事實

ニ於テ五億八百万圓ヲ得ルコトハ困難デアリ、最良ノ財政家ハ必ず最良ノ政治家デナクチヤナラヌ、況シテヤ世間批判スルガ如クニ、最悪ノ財政家ノ時ニ於テハ、最悪ノ政治家ナラザルベカラズト私ハ考ヘル（拍手）

諸君、只今申上ゲマシタヤウニ、本減税率ノ内容ニ付キマシテハ、政府ガ企圖計畫ヲ致シマシタ如キ、所謂負擔ノ公正、均衡ヲ圖ルト云フ其目的モ、達成セシムルコトガ極メテ困難デアル、ソレバカリデハナイ、財源ノ問題ヲ更ニ考ヘテ見ルト、茲ニ本案ノ致命的ノ傷ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）而シテ諸君、諸君ハ財源ノ検討考究ト云フコトヲ敢テ致シマセヌ、減税率ノ美名ニ醉フト云フコトハ、ソレコソ禍ヲ後世ニ賠シ、財政上是ヨリ危険甚シキハナシト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）減税率ト云フモノガ、オ五ノ間ニ認メラレル所以ノモノハ、ソレガ財政上、財政政策上、財政計畫上、即チ恒久ノ財源ガアルカ、或ハ確實ナル財源ガアルカト云フコトニ依テ、其減税率ガ良イカ悪イカト云フコトガ私共ニハ分ルノデアル（拍手）然ルニ唯減税率々々ト言フテ、減税率ノ美名ニ醉フテ、財源ノ検討ヲ缺クト云フガ如キハ、洵ニ危險千萬ナ話デアルト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）此意味合デ、私ハ前田君カラ御話ガアリマシタケレドモ、暫ク財源ノ問題ニ付建艦保留財源ノ中デ、三億七千四百万圓ヲ海軍補充計畫ニ充テ、殘ノ一億三千四百萬圓ト云フモノヲ以テ、國民負擔ノ減税率ヲジ、ヨウト云フコトデアリマス、此元金デアル所ノ五億八百万圓ト云フモノガ、財政計畫上全クモウソレグケノモノハナイ、事實

ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百五十圓、驅逐艦ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百二十圓、斯ウ云フコトニナッテ申上ゲタイト思フコトハ、所謂新艦船ノ船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、前田君ノ議論ト云フモノハ、新艦船維持費デアリマス、只今前田君カラモ新艦ガ、前田君ノ議論ト云フモノハ、新艦船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、ソレハ遠フト思フ、年々是ハ繼續シテ行クモノデアル、軍事當局ガ、御承知ノ通リニ千九百三十六年ノ末ニ於テハ、所謂除籍致シタモノヲ控除シテ、新タニ増加スルモノガ、制限内艦艇ニ於テモ一万八千噸ニ及シテ居ルト云フコトヲ言ツテ居ル、而モ亦海軍大臣ガチヤント、所謂新艦船維持費ト云フモノニ付テハ、安保國務大臣ガ之ヲ認メテ居ル、即チ委員會ニ於キマシテモ、安保國務大臣ガ内田君ノ質問ニ答ヘテ「新艦船維持費ヲ必要トスルコトハ、御説ノ通りデアリマス」と云フコトヲ言ウテ居ル、而シテ今前田君モ、新艦船維持費ト云フモノヲ、五億八百万圓ノ中カラハ引イテナイト云フコトヲ仰セラレタノデアル、又前田君ハ、唯古イ艦ト新シイ艦トヲゴッチャニシテ、所謂順對順ノ御計算ニナッテ居ルガ、是ハ非常ニ違テ居ル所、古イモノヲ除籍シテ、廢艦シテ、新シイモノガ出來ルト云フノデアルカラ、是ハ順對順ノ點バカリデナク、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船維持費ノ計算ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアル、即チ富士ノ如キ古イ艦ハ、一万噸デ馬力ガ十三万馬力、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船ノ維持費ノ議論ハ出來ナイ、又計算ガ出來ナイト私ハ考ヘル、從來御承知ノ通リニ、新艦船維持費ノ内規ト云フモノガ、皆サンモ

ニ於テ五千圓ノ新タニ増加致シマスモノニ對シテ、是ハ所謂制限内ノ艦艇ニ於テ五千圓ノ新タニ増加致シマスモノニ對シテ、是ハ所謂制限内ノ艦艇ニ付バカリデアリマスガ、制限外ノ艦艇ニ付バカリデアリマスガ、制限外ノ艦艇ニ付モノノヤウニ聽エマシタガ、ソレハ遠フト思フ、年々是ハ繼續シテ行クモノデアル、軍事當局ガ、御承知ノ通リニ千九百三十六年ノ末ニ於テハ、所謂除籍致シタモノヲ控除シテ、新タニ増加スルモノガ、制限内艦艇ニ於テモ一万八千噸ニ及シテ居ル、而モ亦海軍大臣ガチヤント、所謂新艦船維持費ト云フモノハ必要デアルカラ、彼此レ合セマスルト、是ガ六年間ニ於テ二千万圓位ノモノガ必要デアルコトハ、私ハ差支ナイト思フノデアリマス、之ヲ引イテナク、是ハ引イテナク、即チ五億八百万圓ノ中カラ、所謂重縮ニ依ル剩餘金ヲ出サウト云フナラバ、建艦ノ費用モ引クノデアリマス、航空隊ノ費用モ引クノデアリマス、或ハ又其他ノ整備費モ此中カラ引ト断言シテ憚ラナイノデアリマス（拍手）更ニ又今回ノ軍縮ニ依リマシテ、海軍工廠ニノ維持費ヲ引イテ居ラヌト云フコトモ、此減税ニ對スル財源ガ不確實ナルモノデアルト云フコトニ申サレテ居リマス、内田君ノ質問ニ對シテ、委員會ニ於キマシテモ、政府ノ引イテナク、是ハ引イテナク、即チ五億八百万圓ノ中カラハ引イテナイト云フコトヲ仰セラレタノデアル、又前田君ハ、唯古イ艦ト新シイ艦トヲゴッチャニシテ、所謂順對順ノ御計算ニナッテ居ルガ、是ハ非常ニ違テ居ル所、古イモノヲ除籍シテ、廢艦シテ、新シイモノガ出來ルト云フノデアルカラ、是ハ順對順ノ點バカリデナク、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船維持費ノ計算ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアル、即チ富士ノ如キ古イ艦ハ、一万噸デ馬力ガ十三万馬力、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船ノ維持費ノ議論ハ出來ナイ、又計算ガ出來ナイト私ハ考ヘル、從來御承知ノ通リニ、新艦船維持費ノ内規ト云フモノガ、皆サンモ

ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百五十圓、驅逐艦ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百二十圓、斯ウ云フコトニナッテ申上ゲタイト思フコトハ、所謂新艦船ノ船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、前田君ノ議論ト云フモノハ、新艦船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、ソレハ遠フト思フ、年々是ハ繼續シテ行クモノデアル、軍事當局ガ、御承知ノ通リニ千九百三十六年ノ末ニ於テハ、所謂除籍致シタモノヲ控除シテ、新タニ増加スルモノガ、制限内艦艇ニ於テモ一万八千噸ニ及シテ居ル、而モ亦海軍大臣ガチヤント、所謂新艦船維持費ト云フモノハ必要デアルカラ、彼此レ合セマスルト、是ガ六年間ニ於テ二千万圓位ノモノガ必要デアルコトハ、私ハ差支ナイト思フノデアリマス、之ヲ引イテナク、是ハ引イテナク、即チ五億八百万圓ノ中カラ、所謂重縮ニ依ル剩餘金ヲ出サウト云フナラバ、建艦ノ費用モ引クノデアリマス、航空隊ノ費用モ引クノデアリマス、或ハ又其他ノ整備費モ此中カラ引ト断言シテ憚ラナイノデアリマス（拍手）更ニ又今回ノ軍縮ニ依リマシテ、海軍工廠ニノ維持費ヲ引イテ居ラヌト云フコトモ、此減税ニ對スル財源ガ不確實ナルモノデアルト云フコトニ申サレテ居リマス、内田君ノ質問ニ對シテ、委員會ニ於キマシテモ、政府ノ引イテナク、是ハ引イテナク、即チ五億八百万圓ノ中カラハ引イテナイト云フコトヲ仰セラレタノデアル、又前田君ハ、唯古イ艦ト新シイ艦トヲゴッチャニシテ、所謂順對順ノ御計算ニナッテ居ルガ、是ハ非常ニ違テ居ル所、古イモノヲ除籍シテ、廢艦シテ、新シイモノガ出來ルト云フノデアルカラ、是ハ順對順ノ點バカリデナク、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船維持費ノ計算ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアル、即チ富士ノ如キ古イ艦ハ、一万噸デ馬力ガ十三万馬力、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船ノ維持費ノ議論ハ出來ナイ、又計算ガ出來ナイト私ハ考ヘル、從來御承知ノ通リニ、新艦船維持費ノ内規ト云フモノガ、皆サンモ

ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百五十圓、驅逐艦ニ於テ五百五十圓、驅逐艦ニ於テ二百二十圓、斯ウ云フコトニナッテ申上ゲタイト思フコトハ、所謂新艦船ノ船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、前田君ノ議論ト云フモノハ、新艦船維持費ニ付テ色々々御話ガアリマシタガ、ソレハ遠フト思フ、年々是ハ繼續シテ行クモノデアル、軍事當局ガ、御承知ノ通リニ千九百三十六年ノ末ニ於テハ、所謂除籍致シタモノヲ控除シテ、新タニ増加スルモノガ、制限内艦艇ニ於テモ一万八千噸ニ及シテ居ル、而モ亦海軍大臣ガチヤント、所謂新艦船維持費ト云フモノハ必要デアルカラ、彼此レ合セマスルト、是ガ六年間ニ於テ二千万圓位ノモノガ必要デアルコトハ、私ハ差支ナイト思フノデアリマス、之ヲ引イテナク、是ハ引イテナク、即チ五億八百万圓ノ中カラハ引イテナイト云フコトヲ仰セラレタノデアル、又前田君ハ、唯古イ艦ト新シイ艦トヲゴッチャニシテ、所謂順對順ノ御計算ニナッテ居ルガ、是ハ非常ニ違テ居ル所、古イモノヲ除籍シテ、廢艦シテ、新シイモノガ出來ルト云フノデアルカラ、是ハ順對順ノ點バカリデナク、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船維持費ノ計算ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアル、即チ富士ノ如キ古イ艦ハ、一万噸デ馬力ガ十三万馬力、馬力ノ點ヲ考慮シナケレバ、新艦船ノ維持費ノ議論ハ出來ナイ、又計算ガ出來ナイト私ハ考ヘル、從來御承知ノ通リニ、新艦船維持費ノ内規ト云フモノガ、皆サンモ

表シナイト言ッテ置キナガラ、僅カ三日カ四日經ッタ今日、減税委員會ノ質問ハ疾クニ濟ンテ、今日採決スルト云フ時ニナッテ御發表ニナルト云フコトハ、卑怯デアルバカリデハナク、議員ノ權限ヲ侵スモノデアルト私ハ考ヘル、四日位ノ後ナラバ、委員會ニ於テ質問ガアッタ時ニ、チャント御發表ニナッテモ差支ガナイデハナイカ、然ルニ僅力四日ノ後ニナッテ御發表ニナレルモノガ、其當時ニ於キマシテハ御發表ニナレナイト云フコトハ、豫算ノ審議權ヲ有シ、法案ノ審議權ヲ有スル、所謂議員ノ職能ヲ侵スモノデアルト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、此内閣ハ、或ハ都合ノ惡イ時ニハ、不答辯主義ト云フヤウナコトヲ御唱ヘニナルケレドモ、實ニ私ハ御五ニ民政黨ト云ハズ、政友會ト云ハズ、質問シタ事ニ對シテハ、能ク答辯シテ吳レテ、慎重審議スルト云フコトガ、是ガ議院政治ノ私ハ本領デアルト云フ、然ルニ當時ノ狀況カラ云フト、安保海軍大臣ハ言ヒサウニシテ尻ヲモジノサセテ居タ、所ガ井上サンダッタカ、海軍政務次官ダッタカ、言ハヌ方ガ宜カラウト云フコトヲ言シタヤウニモ、私ハ見受ケタノデアリマス、アンナ風ニ相談シテ、サウンテ今日御發表ニナルヤウナモノヲ、四日前ニ御發表ニナレナイト云フコトハ、安保サンノ頭カラ御考ヘニナルト、四日前ニハ人心ヲ刺戟シ、惑亂スルモノデアルガ、稅制委員會方濟ミサヘスレバ、モウ人心惑亂ノ虞ガ云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス

諸君、而シテ此約七百万圓ノ交付公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

タル濱口君ハ、曩ニ豫算討論ノ場合ニ我が同僚山崎君ガ説明致シマンタ通リニ、財政計畫ノ上ニ於テハ名義ノ如何ヲ問ハズ、一方ニナルト云フコトハ、卑怯デアルバカリデハナク、議員ノ權限ヲ侵スモノデアルト私ハ考ヘル、四日位ノ後ナラバ、委員會ニ於テ質問ガアッタ時ニ、チャント御發表ニナッテモ差支ガナイデハナイカ、然ルニ僅力四日ノ後ニナッテ御發表ニナレルモノガ、其當時ニ於キマシテハ御發表ニナレナイト云フコトハ、豫算ノ審議權ヲ有シ、法案ノ審議權ヲ有スル、所謂議員ノ職能ヲ侵スモノデアルト私ハ断言シテ憚ラナイノデアリマス、此内閣ハ、或ハ都合ノ惡イ時ニハ、不答辯主義ト云フヤウナコトヲ御唱ヘニナルケレドモ、實ニ私ハ御五ニ民政黨ト云ハズ、政友會ト云ハズ、質問シタ事ニ對シテハ、能ク答辯シテ吳レテ、慎重審議スルト云フコトガ、是ガ議院政治ノ私ハ本領デアルト云フコトヲ、然ルニ當時ノ狀況カラ云フト、安保海軍大臣ハ言ヒサウニシテ尻ヲモジノサセテ居タ、所ガ井上サンダッタカ、海軍政務次官ダッタカ、言ハヌ方ガ宜カラウト云フコトヲ言シタヤウニモ、私ハ見受ケタノデアリマス、アンナ風ニ相談シテ、サウンテ今日御發表ニナルヤウナモノヲ、四日前ニ御發表ニナレナイト云フコトハ、安保サンノ頭カラ御考ヘニナルト、四日前ニハ人心ヲ刺戟シ、惑亂スルモノデアルガ、稅制委員會方濟ミサヘスレバ、モウ人心惑亂ノ虞ガ云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○副議長(小山松壽君) 静肅ニ願ヒマス――

〔發言スル者多シ〕

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○副議長(小山松壽君) 静肅ニ願ヒマス――

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○副議長(小山松壽君) 静肅ニ願ヒマス――

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

○木暮武太夫君(續) 資源ノコトニ付キマス、此内閣ハ、今申上げ、且ツ今回政府ガ提案致シマシテ、殊ニ倫敦條約ニ依ル兵力量ノ缺陷ヲ補填スル所ノ根幹ヲ成スト、稱セラレテ居リマス所ノ補充計畫、之ヲ引イテ減税ヲスルノダカラ是ガ確乎トシタモノデナクチヤナラヌト考ヘル、此點ニ付テ少シ論議ヲ進メテ見タインデアリマス、御承知ノ通り委員會ニ於キマシテ、内田君カラ此點ニ付テ色々ノ質問ガアッタ、即チ所謂二億四千七百万圓ト云フ所ノ、艦艇ノ建造費ト云フモノハ、年度ヤ何カノコトヲ考ヘテ、豫算ト豫算ノ上ニ現レテ居ル所ノ金額ト、海軍ガ持々云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ不生產的ノ公債デアリマス、御承知ノ通リニ、ソレガ國家產業ノ基礎ヲ培養スルヤウナ公債デアリマシタナラバ異議ハナイガ、一方デ公債ヲ募集シテ、サウンテ減税ヲスルト云フコトハ、是ハ私ハ異議ガアルト思フ、民政黨ノ方、殊ニ民政黨ノ總裁デアリ總理大臣

ナル違ヒガアルト云フコトヲ斷言シテ憚ラ
 ナイ、然ラバ先ツ五億八百万圓ノ中カラ減
 税ニ充テル餘剩金ヲ取爾爲ニ引クベキ所ノ
 此第一次補充計畫ニ、斯ノ如キ所ノ出入リ
 ガアルト致シマスレバ、今回ノ一億三千四
 百万圓ノ減税ノ財源ト云フモノハ、不安定
 極マルモノデアルト斷言シテ差支ナイト思
 フノデアリマス(拍手)

私ハ最後ニ此減税案ノ根本ヲ搖ガスト申
 シマセウカ、寧ロ此減税案ニ付テ色々仰シ
 ヤル所ノ理由ヲ、全ク根本カラ覆シ、否定
 スル所ノ、何人モ論議スル餘地ヲ容サナイ
 所ノ、決定的ニ財源ノ缺陷ニ付テ申上ゲテ
 見タイ思フノデアリマス、御承知ノ通り
 ニ對シマシテ御答ニナッタ所ニ依リマスト、
 政府ハ昭和十一年十二月三十一日、即チ千
 九百三十六年十二月三十一日マデニ今回倫
 教條約ニ依リテ我が國が獲得致シマシタ權利
 ラ實行スル必要ト希望ヲ有スルト云フコト
 ヲ御認ニナッテ居ルノデアル、即チ倫敦條約
 ニ依リテ獲得シタ所ノ我が造船權利ヲ實行
 スル必要ガアルト云フコトヲ御認ニナッテ
 居ル、端的ニ之ヲ申上ゲマスナラバ、此造
 船權利ト云フモノハ政府が必要ガアルト云
 フナラバ、實行スル譯デアル、而シテ此權利
 ハ、昭和十一年十二月三十一日マデニ之ヲ
 實行スルト云フコトヲ、御言明ニナッタ同
 ジダト私ハ思フ、即チ若シ昭和十一年十二
 月三十一日マデニ完成スル所ノ造船權利
 ハ、昭和十一年十二月三十一日マデニ之ヲ
 實行スルト云フコトヲ、御言明ニナッタ同
 ジダト私ハ思フ、即チ若シ昭和十一年十二
 月三十一日マデニ完成スルモノヲ之ヲ實行
 致サナイト云フコトニナレバ、ソレハ權利
 ノ拋棄デヤナカ、昭和十一年十二月三十一
 日マデニ是ハ保留サレラバ、是ハ權利デア
 テ、是ガ翌年ニ廻タラバ、是ハ權利デア
 テ、是ガ翌年ニ廻タラバ、是ハ權利デア

葉デアル、幣原首相代理モ權利ノ拋棄ハシ
 ナイト云フコトヲ御言明ニナッテ居ルノダ
 カラ、千九百三十六年ノ末日マデニ完成ス
 ル權利ヲ行使スルト云フコトヲ、半面カラ認
 メタコト、私ハ考ヘルノデアリマス、併シ
 千九百三十六年ノ末日マデニ完成シ得ル所
 ノ造船權利ガ、大部分ナリガ、今
 回ノ補充計畫ノ内ニ這入ラテ居レバ、私ハ文
 句ハ言ハナイノデアリマス、併シ御承知ノ
 通りニ千九百三十六年ノ末日マデニ完成ス
 デヤラナカッタモノガ相當ニアル、即チ順數
 ニ致シマスナラバ二万六千頃デアリマス、
 五千圓ト云フ巨額ノ金ニナル、是ハ權利ヲ
 拋棄シナイ、而シテ權利ヲ實行スルコトノ
 必要ヲ認メルト言フ以上ハ、必ズ政府ハ之
 之ヲ建艦費ニ直シマスト八千三百八十七万
 ノ考デアラウト私ハ考ヘル(拍手)更ニ又權
 利ノ保留シテアル所ノ造船權利ヲ實行スル
 ト云フコトヲ、他ノ半面カラ見マスナラ
 バ、所謂千九百三十六年ノ末日マデニ著手
 シテモ宜シケレドモ、完成シテハイケナ
 伊ト云フ所ノ權利ガアル、是は恐ラク六十
 パーセントヤルカ、或ハ二十一パーセント
 ヤルカ、四十パーセントヤルカ知
 リマセヌケレドモ、併ナガラ是ハ千九百三
 十六年ノ末日マデニ著手シテ、千九百三十
 七年一月ニナッテ竣工シテモ宜イモノデア
 ルカラ、相當ノ所マデニ著手スベキコト
 ハ、我ガ國防ノ安固ヲ圖ルベキモノトシ
 テ、是ハ當然ノヤリ方テアラウト私ハ思フ、
 更ニ此權利ハ三万二千九百頃デアリマス、
 サウンシテ此金額ヲ政府ノ言フ豫算面ニアル
 ノコト位ハ吾々ハ責任ヲ持タヌト言ハレル
 ナガラ此海軍條約ニ依ル所ノ兵力量ノ減
 レ少ナルト云フコトガ、海軍部内デハ大問題トナ
 テ、而モ此缺陷ヲ補充スル所ノ補充計畫ニ
 關シマシテハ、諸君が既ニ御承知ノ通りニ、
 當時ノ軍令部長ノ反対ヲ押切テ、サウシテ
 兵力量ヲ決定致シテ、國民ニ向シテハ、軍縮
 ノ結果多大ノ減税ヲ爲シテ、國民負擔ノ輕
 ネシテハ多大ノ反対ヲ爲シテ、海軍軍事參
 議官ニナリマシタ所ノ加藤大將ガ、大阪デ
 ハ、昨年ノ十一月ノ十二日デアリマシタ
 カ、海軍軍令部長トシテ政府ノ兵力量決定
 モノデアルト私ハ考ヘルノデアル(拍手)例
 倘テ諸君、現内閣ハ倫敦條約ノ兵力量ニ
 致シテ居ルト云フコトハ、是ハ最低ノ金テ
 工ヲ遊バセズニ、所謂工業能力ヲ維持スル
 モノデアルト云フコトヲ、其裏ニ含シテ居
 ナイカ、是等ノ頭ヲ出ストカ、或ハ海軍工
 廠ノ工業能力ヲ維持スル爲ニ、少クトモ九
 百六十八万圓ノ金ガ掛ルト云フコトヲ發表
 致シテ居ルト云フコトハ、是ハ最低ノ金テ
 アッテ、ソレ以上ハ一億五千万圓ニモ及ブモ
 ノデアルト云フコトヲ、其裏ニ含シテ居
 モノデアルト私ハ考ヘルノデアル(拍手)例
 テ、而モ此缺陷ヲ補充スル所ノ補充計畫ニ
 付キマシテハ、御承知ノ通りニ海軍ノ軍事
 參議官會議及ビ樞密院會議ニ於テ重大ナル
 ト云フコトガ、海軍部内デハ大問題トナ
 テ、一方デハ減税ヲヤリ、一方デハ補充計畫ヲ
 完成シテ、國防ノ安固ヲ期スト云フコトノ
 誓約ヲシテ、サウンシテ條約御批准ノ奏請ニマ
 デ至シタ云フコトハ、是ハ樞密院會議ノコ
 トダカラト云ツテ、政府ハ御否認ニナルカモ
 知レマセヌガ、新聞其他ニ依シテ既ニ天下
 公知ノ事實デアルト私ハ考ヘルノデアリマ
 ス、斯ノ如ク一方ニ於テハ減税ヲ行ヒ、一
 方ニ於テハ國防ノ安固ヲ期スト云フコトヲ

誓約シタモノデアルガ、以上申述ベル如クニ、國防安固ナラント欲スレバ減税ハ一錢モスルコト能ハズ、又減税ヲセント欲スレバ國防ノ安固期シ難シト云フ「ヂレンマ」ニ今日陷テ居ルテハアリマセヌカ（拍手）諸君、私共ハ批准ヲ奏請致シマシタ所ノ演口總理大臣竝ニ幣原外務大臣ト云フモノガ、實ニ此減税ヲシヨウトスレバ一方ノ國防計畫ト云フモノハ不安デアリ、國防ヲ全クシヨウトスレバ減税ハ一文モ出來ナイト云フヤウナ、斯ウ云フ羽目ニ立至ラセタヤウナ倫敦條約ヲ締結シタ其罪ハ、寔ニ重大ナルモノデアルト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイノデアリマス（拍手）只今前田君ハ海軍ノ首腦部ニ於キマシテハ、是デ國防ノ計畫ニ不安ハナリト云フコトニ一致シテ居ルシト云フ御話デアル、サウンテ其首腦部ト云フノハ軍令部・軍事參議官ト云フヤウナ人達アルト云フコトヲ仰セラタノデアルガ、然ラバ一致シタ意見ト云フノハ私共カラ考ヘマスナラバ、所謂奉答文ガ即チ一致シタ意見デアラウト思フ、併ナガラ奉答文ノ内容ニ付テ吾々ハ知ラヌノデアリマスガ、首先腦部ニ於テ此國防デ安全デアルト一致シテ居ルト云フ奉答文ノ内容ヲ知テ居ルヤウニ言ハレル前田君ハ、ソレヲ何處カラ御聽來用兵作戦上若干ノ國防ニ不足缺陷ガアルト云フコトヲ断言致シテ居ルデアリマセヌカ（拍手）自分ノ戴イテ居ル所ノ内閣ノ椅子ニ就イテ居ル國務大臣ガ、海軍大臣ガ此條約ニ依ル兵力量デハ、以テ國防ノ安固トカ、或ハ用兵作戦上ニ付テ見ルト、若干ノ不足、缺陷ガアリト云フコトヲ御認ニナッテ居ルナラバ、吾々政友會ノ者ガ之ヲ若干ノ不足、或ハ又缺陷ガアリト認メルノハ、當然ノコトデアルト思フノデアリマス（拍手）政府ガ今回補充計畫ヲ提案ニナックト云フコトハ、實際ハ恐ラク補充計畫ト云フモノハ、當然爲スベキ補充計畫デアルニ違ヒ軍ヲ強要シテ、此壓迫ヤ強要ニ負ケタ海軍

大臣モ弱イ人デアルニ達ヒナイガ、兎モ角モ海軍大臣ヲ壓迫、強要シテ、分割スペカラザル所ノ補充計畫ヲ分割シテ出シテ、此依テ生ジタル兵力量ノ一大缺陷ヲ補フガ如クニ裝ウタル其心事ハ、極メテ陋劣ナルモノガアルト思フノデアリマス、一方ニハ財源ニ於テ不確實ナ出來モシナイ幾多ノ公約ヲ果サントスルガ爲ニ、減税ヲスルト云フニ至ラテハ、睡棄スベキモノガアルト私ハ感ブルノデアリマス（拍手）
ソレカラ先刻前田君カラ……
〔發言スル者多シ〕

○副議長（小山松壽君） 静肅ニ願ヒマス○本暮武太夫君（續） 國債ニ付テノ御話ガ
○副議長（小山松壽君） 静肅ニ願ヒマスアリマシタガ、一言私ハ反駁致シテ置キマスガ、昭和六年度ニ於テ私共ガ聽イタ範圍ニ於テハ、所謂償還額ガ七千四百万圓デ、サウンシテ新ニ借入レタモノハ九千餘万圓ニナシテ居ル、差引二千万圓ノ昭和六年度ニ於キマシテハ國債ノ増額ニナシテ居ル、國債ノ減債ト云フコトニハナシテ居ラナイ、法律ノ結果デアルトカ、何ノ結果デアルトカ言ヒマスガ、現内閣ノ下ニ於テ殖エタモノハ殖エタト言ハナケレバナラナイノデアリマス（拍手）

○副議長（小山松壽君） 大石君靜肅ニ
○副議長（小山松壽君） 數ハ相對的デアリマス、唯金額其モノヲ見テ僅少デアルト云フコトチマシテ、斯ノ如キ財源ノ不確實ナル所ノ減税ニハ、減税ニハ大賛成デアルカラ、寧ロ建直シヲ行フテ、組替ヲ爲シテ、サウシテ更ニ此議場ノ協賛ヲ受ケシト云フ所ノチマシテ、幾何ノ金額ヲ以テ減税ヲヤッタノデアルカ、議會ノ開設以來歷代ノ内閣ヲ數フルコト十數ニ及ビマスルガ、大正三年ノ山本内閣マデハ殆ド增税ノ歴史デアル、是ハ必ズシモ増税其モノガ惡イトハ断ジテ言ハナイノデアリマス
〔發言スル者アリ〕

○副議長（小山松壽君） 大石君注意シマスス地租法外六案ニ對シマシテ、政友會ノ撤回ノ動議ニハ反對致シ、而シテ本田委員長ノ報告ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス、此度ノ減税ノ法案ハ言フマデモアリマセヌ、國家ノ大事變、戰爭其他ノ事由ニ依シテ増税モアシタノデアリマス、山本内閣ノ時ハ減税モアシタノデアリマス、僅カ千百五十万圓ニ過ギナイ、續イテ大正七年ノ寺内内閣デアリマス、三ト二ノ割合デアリマス、ノ減税ノ總額、即チ直接税ハ千五百四十万圓、間接税カ一千二十万圓デアリマス、ヤハリ三下二ノ割合デアル、何ガ故ニ今回ノ減税ガ間接税ニ薄クシテ、直接税ニ厚イト加ヘマス、サウンシテ其割合ヲ見ルト直接税ハ六割一分八厘、間接税ハ三割八分二厘デアリマス、三ト二ノ割合デアリマス、今度賛成スル次第デアリマス、尙ホ此度ノ租税ノ改革ノ主ナルモノハ何處ニアルカ、地租ノ大改正ヲシタコトガ重ナツデアリマス、而シテ此地租ノ課稅

標準ヲ賃貸價格ニ直シクト云フコトデアリ
マス、御承知ノ如ク地租條例ヲ明治初年ニ
實行シタ、明治六年ノ七月ニ畏クモ明治大
帝陛下カラ御詔勅ガ降タ、租稅ノ制度ハ均
一公平ニシナケレバイカヌ、均一公平ニシ
テ全國ニ於テ民ニ厚薄ナカラシムルヤウニ
シナケレバナラス、此上諭ガアッテ維新ノ元
動ハ大ニ日夜焦慮シテ、茲ニ地租條例ノ制
定ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、爾來六十年
間、明治四十三年ニ宅地ノ改正ヲ致シマシ
タガ、是レ亦二十年ヲ經テ居ルノデアリマ
ス、斯様ニ現在ノ現行法ノ地租ハ、課稅標
準ヲキメテカラ數十年間ノ期間ヲ經テ居リ
マシテ、國民負擔ノ上ニ於テ非常ニ不公平
ヲ來シテ居ル、之ニ向テ先づ改正ヲ加ヘナ
ケレバナラヌト云フノハ、多年ノ希望デア
ル、此點ニ付キマシテハ、政友會諸君が昭
和四年第五十六議會ニ於テ兩稅委譲ノ案ヲ
此壇上デ出サレタ、其時ニヤハリ政友會諸
君ハ地租ノ課稅標準ハ賃貸價格ヲ以テ之ヲ
ヤルト云フコトニキメテ居ラタノデアリマ
ス、此明治初年以來末だ一過モ改正ヲ加ヘ
ナイ所ノ地租ニ向テ、數十年來ノ目的ヲ達
シタコトハ、此度ノ此地租法案ト云フモノ
ガ、如何ニ國民ノ課稅ノ均衡ヲ得ルコトニ
大效果ガアルト云フコトノ證據デアルト思
フノデアリマス、而シテ地租法案ハ課稅ノ
均衡ヲ得ル、稅制ノ整理ヲスルト共ニ減稅
ヲ爲スト云フ、ニツノ重大ナル要素ガ含マ
テ居ルノデアリマス、即チ地租ニ於テハ町
村、殊ニ農村ノ關係アリマス所ノ村落ノ方
ノ用畠ノ租稅ニ付キマシテハ、一千六百万
圓ノ減稅ヲ致シテ居ル、宅地ニ於テ五百万
圓バカリ減エタノデアリマス、是ハ稅制整
理ヲ伴フ所ノ案デアリマスルカラ、而モ六
十年間ノ課稅ノ均衡ヲ得セシムル目的ノ爲
ニ之ヲ改正致シタノデアリマスカラ、課稅
ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、多少ソコニ増減ガア
ルノハ致方アリマセヌ、併ナガラヤハリ此
宅地ニ於キマシテモ三割八分ノ率ヲ以テ減
稅ヲ致シテ居ルコトハ事實デアルノデアリ
マス、左様ナ重大ナル改正ヲ含ンダル所ノ
現行制度デアリマシテ、之ヲ是非行ハナケ
レバナラヌト云フ理由ハ後述ベマス
而シテ私ハ岡田君ノ原案ニ對シマス所ノ

批評ニ付キマシテ、一二論駁ヲ致サウト思
フノデアリマス、地租ニ對シテ免稅點ガ二
百四十圓ニシタ、地租ノ賃貸價格ヲ二百圓
ニシタコトハ、從來ノ地價ニ比較シテ四十
定ヲ見ルニ至ツタノデアル、免稅點ヲ上ゲタノデア
ル、營業収益稅ハ其儘ニシテ置クノハ宜シ
クナイ、權衡ガ取レナイ、斯ウ云フ御論デ
アリマシタガ、營業収益稅ノ方ハ免稅點ヲ
上ゲマシテモ、是ハ所謂府縣稅ニ於テ課稅
ヲセラル、所ノ所謂危險ガアルノデアリマ
ス、殊ニ營業収益稅ハ千圓以下ノ者ニ對シ
人ハ減稅ノ恩典ヲ受ケルコトガ出來タノデ
アリマス、即チ是デ權衡ハ十分得テ居ルト
思フノデアリマス
次ニ岡田君ハ又言ハレル、何故ニ人絹ニ
免稅ヲシナカタカト申サレタノデアリマス、日
本ニ於キマシテ一番「レーヨン」ノ需要ノア
リマスノハ、即チ百五十「デニール」ノモノ
デアリマス、綿絲ノ三十二番手ニ當ルノデ
アリマス、一番需要ノ多イ所ノ綿絲三十二
番手ト「レーヨン」百五十「デニール」ト比較
シテ見マスト、値段ハ莫大ナル違ヒガアル
ノデアル、デアルカラ綿絲ノ免稅ヲ致シテ
居ルカラト云フ理由ヲ以テ、「レーヨン」ノ
免稅ヲシナケレバナラヌト云コトハナイ、
「レーヨン」ノ百匁當リハ一国内外デアリマ
ス、日本ノ各方面ニ於テ需要サレル所ノ綿
絲ハ即チ三十二番手デアリマスルガ、是ハ
三十九錢デアリマス、綿織物ヲ免稅致シタ
カラ「レーヨン」ニ對シテ免稅ヲシナケレバ
ナラヌト云フ理由ハ斷ジテナインデアリ
マス

ノ賃貸價格ヲ以テ課稅標準トシテ居ルノデ
アリマス、佛蘭西ニ於テモ左様デアリマス
テ居ル、減稅ヲ一方ニヤッテ居ルガ、公債ヲ
募ル計畫デアル、三千五百五十萬圓ノ公債
アリマスガ、是ハ繰返シテ申シマセヌ、失
業公債ハ一年限デアル、左様ナコトヲ言ハ
ル、ナラバ、吾々ハ過去ノ歴史ニ付テ亦考
ヘンケレバナラヌノデアリマス、大正十二
年ノ加藤内閣、即チ政友會ガ支持シテ居ラ
レタ所ノ加藤内閣——加藤友三郎内閣ニ於
テ、千二百八十万圓ノ減稅ヲ致シテ居リマ
スガ、ヤハリ其年ニハ公債財源ヲ使シテ居
ル、三千五百万圓バカリハ電信電話ノ公債ヲ
募ルコトニナッテ居タノデアリマス、即チ
是ガイケナイト言フナラバ、ヤハリ此加藤
友三郎内閣ノ減稅ト云フモノハ無茶苦茶ナ
アリマス、一一番需要ノ多イ所ノ綿絲三十二
番手ト「レーヨン」百五十「デニール」ト比較
シテ見マスト、値段ハ莫大ナル違ヒガアル
ノデアル、デアルカラ綿絲ノ免稅ヲ致シテ
居ルカラト云フ理由ヲ以テ、「レーヨン」ノ
免稅ヲシナケレバナラヌト云コトハナイ、
「レーヨン」ノ百匁當リハ一国内外デアリマ
ス、日本ノ各方面ニ於テ需要サレル所ノ綿
絲ハ即チ三十二番手デアリマスルガ、是ハ
三十九錢デアリマス、綿織物ヲ免稅致シタ
カラ「レーヨン」ニ對シテ免稅ヲシナケレバ
ナラヌト云フ理由ハ斷ジテナインデアリ
マス

ノ賃貸價格ノ問題ニ付テハ最早論議ヲスル餘
地モナイヤウデアリマスガ、此點ニ付テハ
カト云フコトヲ、尙ホ附言致シテ置キマス、
貨貸價格ノ問題ニ付テハ最早論議ヲスル餘
地モナイヤウデアリマスガ、此點ニ付テハ
カト云フコトヲ、尙ホ附言致シテ置キマス、
ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、多少ソコニ増減ガア
ルノハ致方アリマセヌ、併ナガラヤハリ此
宅地ニ於キマシテモ三割八分ノ率ヲ以テ減
稅ヲ致シテ居ルコトハ事實デアルノデアリ
マス、左様ナ重大ナル改正ヲ含ンダル所ノ
現行制度デアリマシテ、之ヲ是非行ハナケ
レバナラヌト云フ理由ハ後述ベマス
而シテ私ハ岡田君ノ原案ニ對シマス所ノ
居ル所ノ建前ハ、日本ノ稅制ト能ク似テ居
ルノデアリマス、英國ニ於テモヤハリ臺帳

減税ヲ加ヘテ居リマス、其斤數ヲ言フテ見ルト、日本デ吾々ガ消費致シマス所ノ砂糖ノ需要總量十三億万斤ノ中、第一種、第二種ヲ消費致シマスモノハ、七億万斤ノ多キニ及ンデ居ルノデアリマス、即チ是等ノ砂糖ニ對シテ、一方ハ一割、一方ハ九分ト云フ減税ヲ行フテ居ル、是ガ社會政策ニ非ズシテ何ゾヤデアリマス、織物消費稅ニ付キマシテハ、全體ニ付テ一割ノ減額ヲ加ヘテ居リマス、而シテ綿絲ヲ九十五「ペーセント」以上含ンデ居ルモノニ對シマシテハ、今マデハ色々ナ制限ガアッテ、必ズシモ免稅ニナッテ居ラヌガ、今同ノ改正ハ綿絲九十五「ペーセント」以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……

○副議長(小山松壽君) 請求シテ居リマス、西脇君(續) 尚ホ木暮君ハ、濱口内閣組閣以來少シモ減稅ニ對スル所ノ政策ニ付テ言フテ居ラヌト云フヤウナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、我ガ民政黨が減稅ニ對スル所ノ意見ヲ聲明シタノハ何時デアルカト云フト、最近昭和四年一月ノ大會ニ於テ、斯様ナコトヲ言フテ居ル、社會政策の見地ヨリ左記ノ方法ヲ以テ國稅及地方稅ノ整理廢減ヲ行フ、イ、地租及營業収益稅ハ過當ナル修正ヲ加ヘテ國稅トシテ之ヲ存續スルコト、生活必需品ニ對スル消費稅織物消費稅ヲ整理スルコト、斯様ニ中外ニ我が民衆ニ對セント以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……

○副議長(小山松壽君) 請求シテ居リマス、西脇君(續) 尚ホ木暮君ハ、濱口内閣組閣以來少シモ減稅ニ對スル所ノ政策ニ付テ言フテ居ラヌト云フヤウナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、我ガ民政黨が減稅ニ對スル所ノ意見ヲ聲明シタノハ何時デアルカト云フト、最近昭和四年一月ノ大會ニ於テ、斯様ナコトヲ言フテ居ル、社會政策の見地ヨリ左記ノ方法ヲ以テ國稅及地方稅ノ整理廢減ヲ行フ、イ、地租及營業収益稅ハ過當ナル修正ヲ加ヘテ國稅トシテ之ヲ存續スルコト、生活必需品ニ對スル消費稅織物消費稅ヲ整理スルコト、斯様ニ中外ニ我が民衆ニ對セント以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……

○副議長(小山松壽君) 請求シテ居リマス、西脇君(續) 尚ホ木暮君ハ、濱口内閣組閣以來少シモ減稅ニ對スル所ノ政策ニ付テ言フテ居ラヌト云フヤウナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、我ガ民政黨が減稅ニ對スル所ノ意見ヲ聲明シタノハ何時デアルカト云フト、最近昭和四年一月ノ大會ニ於テ、斯様ナコトヲ言フテ居ル、社會政策の見地ヨリ左記ノ方法ヲ以テ國稅及地方稅ノ整理廢減ヲ行フ、イ、地租及營業収益稅ハ過當ナル修正ヲ加ヘテ國稅トシテ之ヲ存續スルコト、生活必需品ニ對スル消費稅織物消費稅ヲ整理スルコト、斯様ニ中外ニ我が民衆ニ對セント以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……

○副議長(小山松壽君) 請求シテ居リマス、西脇君(續) 尚ホ木暮君ハ、濱口内閣組閣以來少シモ減稅ニ對スル所ノ政策ニ付テ言フテ居ラヌト云フヤウナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、我ガ民政黨が減稅ニ對スル所ノ意見ヲ聲明シタノハ何時デアルカト云フト、最近昭和四年一月ノ大會ニ於テ、斯様ナコトヲ言フテ居ル、社會政策の見地ヨリ左記ノ方法ヲ以テ國稅及地方稅ノ整理廢減ヲ行フ、イ、地租及營業収益稅ハ過當ナル修正ヲ加ヘテ國稅トシテ之ヲ存續スルコト、生活必需品ニ對スル消費稅織物消費稅ヲ整理スルコト、斯様ニ中外ニ我が民衆ニ對セント以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……

○副議長(小山松壽君) 請求シテ居リマス、西脇君(續) 尚ホ木暮君ハ、濱口内閣組閣以來少シモ減稅ニ對スル所ノ政策ニ付テ言フテ居ラヌト云フヤウナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、我ガ民政黨が減稅ニ對スル所ノ意見ヲ聲明シタノハ何時デアルカト云フト、最近昭和四年一月ノ大會ニ於テ、斯様ナコトヲ言フテ居ル、社會政策の見地ヨリ左記ノ方法ヲ以テ國稅及地方稅ノ整理廢減ヲ行フ、イ、地租及營業収益稅ハ過當ナル修正ヲ加ヘテ國稅トシテ之ヲ存續スルコト、生活必需品ニ對スル消費稅織物消費稅ヲ整理スルコト、斯様ニ中外ニ我が民衆ニ對セント以上含ンデ居リマス織物ハ、他ノ絲ヲ混織致シテモ之ヲ免稅スルト云フコトニ致シクノデアリマス、麻織物ニ付キマシテモ非常ニ免稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、茲ニ織物稅ヲ通ジマシテモ、社會政策ヲ行ツテ居ル次第アリマス、地租ニ付キマシテハ左様デアル、營業収益稅ニ付テモ左様デアル、砂糖、織物消費稅ニ付テモ左様デアルト云フコトヲ以テ見マシテモ、如何ニ社會政策、產業政策ヲ加味シテ居ルカト云フコトガ十分分ルノデアリマス諸君、岡田君ハ尙ホ批評シテ曰ク、今度ノ地租ノ改正、殊ニ貨貸價格ノ調ハ四年前ノ調デアル、ソンナ古イ物ヲ持テ來テハイカヌデハナイカ、ソンナ古イ物デハ却テ課稅ノ公正正期スル譯ニハ行カナイデハナイカ、左様ニ仰セラレタノデアリマス、所ガ今回ノ此減稅法案ニ付テ調ベマシタ所ノ賃貸價格ハ、昭和二年ノ末ニ調査ヲ完了シタノデアリマス、大正元年カラ昭和二年ノ末マデ掛クタノデアリマス、此爲ニ一千萬圓ノ金ヲ使ヒ(商工大臣ハドウシタ)ト呼フ者アリ八百万人ノ人ヲ使ヒ、専門ノ高等官二人、八百万人ノ役人、加フルニ日本全國ノ役人ヲ兼務サセテ、九千万人ノ人ガ之ニ掛リマシテ二年間心血ヲ注イダ所ノ賃貸價格ノ調査デアリマス、デアルカラ三年前デアルカラ是ハ古イト云フ譯ニ行カヌ、斯様ナ親切、丁寧、懇切ヲ極メテ調査シタ所ノ賃貸價格デアリマスカラ、課稅ノ公平ハ十分期セラレルト思フノデアリマス……